

第八十六回帝國議會
衆議院

船員保險法中改正法律案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案

現役青年學校職員修給費國庫補助法案(政府提出、貴族院送付)(第二二號)

昭和二十年二月二日(金曜日)午後一時二十六分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 村松 久壽君

理事 富田愛次郎君 理事 仲井間宗一君
理事 渡邊 健君

清水留三郎君

米田 吉盛君

中越 義幸君

森谷 新一君

山口喜久一郎君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍少將 那須 善雄君

文部政務次官 今井 健彦君

文部參事官 子爵三島 通陽君

文部省總務局長 永井 浩君

文部省國民教育局長 阿原 謙藏君

軍需省部長 山口 喬君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

現役青年學校職員修給費國庫補助法案(政府提出、貴族院送付)

○村松委員長 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス——高城憲夫君

○高城委員 動員ノ問題ニ付テ少シ御

尋ネシタイコトガアリマスガ、其ノ前

ニ科學教育ノ一前進トシテ特別科學教

育研究實施要綱ヲ發表セラレマシタコ

トハ非常ニ意義ナルコトダト思ヒマ

ス、唯、之ヲ差當ツテ高等師範ニ限定

ヲサレタ點ニ付テハ如何ナモノデアル

カ、廣ク研究ノ段階ヲ拔キニシテ、モ

ウ實踐ノ一、一舉ニシテ此ノ目的ヲ

達スルヤウニ、地域ノニモ全國ニ普及

擴大スルヤウニシタラ 如何デアラウ

カ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、具體

のニハ各縣ニ斯ウシタモノヲ責任ヲ以

テ一ツツツ拵ヘテ行クト云フヤウナコ

トヲ早急ニヤツタラ如何デアラウカ、

之ニ關スル御考ヘハアリマセヌカ

○阿原政府委員 先般發表ニナリマシ

タ科學ニ關スル英才教育ノ一端ト致シ

マシテ、高等師範學校ノ附屬中學ヲ利

用致シマシテ、ソコデ秀才ヲ集メテ教

育スルコト云フコトガ決定サレ、發表ニ

ナツタノデアリマスガ、之ヲ全國各府

縣ニ引延バシマシテ各府縣毎ニヤルコ

トニ付キマシテハ、マダ研究モ具體的

ニ進ンデ居ラナイ狀態デゴザイマスル

ガ、既ニ發表ニナリマシタ計畫ガ實際

ドノ程度ニ其ノ效果ヲ擧ゲルカト云フ

コトハ今後ノ努力如何ノ問題デモアリ、

實ハ其ノ成果モ十分ニ極メマシテ之ヲ

全國ノ各府縣ニ及ボスト云フヤウニ持

ツテ行キタイ、現在ノ所ハ斯樣ニ考ヘ

テ居ル次第デアリマシテ、今直チニ全

國各府縣ニ之ヲ普及スル考ヘハ持ツテ

居リマセヌ

○高城委員 教育ノ内面的な發展カラ

斯ウシタ科學教育ヲアルベシト云フコ

トノ研究ノ唱道ナリ、又實際ハ或ル意

味ニ於テハ相當今日マデ進ンデ居ルヤ

ウニ思ヒマスノデ、折角文部省ガ採リ

上ゲラレタ此ノ一ツツ教育ノ轉換ハ、

研究デナシニ實際ニ之ヲ勃然トシテ國

全體ニ其ノ空氣ヲ起スヤウニサレル段

階ガ今日ノ段階デナケレバナラヌト思

ヒマス、デスカラ折角官立師範學校ヲ

モ設立サレマシタ今日、殊ニ學徒動員

デ學徒ノ知の方面ニ幾多ノ問題ヲ持ツ

テ居ル際デアリマスカラ、何トカシテ

思ヒ切ツテ年度ノ半バカラデモ、情勢

ニ依ツテハサウシタモノガ各府縣毎ニ

起ルヤウナ工合ニ御考慮ハ願ヘマセヌ

デセウカ

○阿原政府委員 只今ノ御趣旨ノ存ス

ル所ハ能ク了承致シマシタ、十分研究致

ス、成案ヲ得マスレバ遠カラズ實施ノ

運ビニ至ラウカト思ヒマスケレドモ、

只今ノ所ハマダ具體的ニ申上ゲル域ニ

達シテ居リマセヌ

○高城委員 次ニ是ハ極ク最近ノ問題

トシテ學校方面ニモ非常ニ關心ヲ持タ

レタコトデアリマスルガ、高等專門學

校ノ入學試驗ニ關スル問題デアリマ

ス、此ノ企業ハ非常ニ面白イ、一ツノ

革新ヲ齎ラシタモノトシテ評判ガ好イ

ノデアリマス、唯此ノ内容ニ付キマシ

テ、學校ノ分類ノ基準ト申シマスガ、

サウ云フヤウナモノハドウ云フヤウナ

考ヘ方カラ一期、二期、三期ノ分類等

ガ生レタモノデアルカ、或ハ其ノ實情ハ

ドウカト云フ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○永井政府委員 成ベク勤勞中ノ學徒

ニ對シテ受驗ノ爲ニ時間ヲ取ルト云

フコトヲ避ケタイト云フ點カラ考ヘマ

スルト、試驗ノ期日ト云フモノハ一週

デ済マセルトコトが目標デアルト思フノ

デアリマス、ト同時ニ又一面ニ於テハ

是等學徒ニ對シテ受驗ノ機會ヲ出來ル

ダケ多ク與ヘテヤリタイト云フ親心ノ

點カラ申シマス、試驗ノ期日ト云フ

モノガ數回ニ互ルコトガ望マシイコト

デアリマス、此ノ二ツノ相反シタ要求

ト云フモノヲ調和致シマシテ、ソレデ

一期、二期、三期ト此ノ三回ニ決定シ

タ譯デアリマス、ソコデ一期、二期、

三期ノ各、ドノ學校ハドノ期ニ於テ試

驗ヲスルカト云フコトハ、専ラ學校當

局ノ希望ニ依ツテ決定メタノデアリマ

ス、隨テ期日ノ方先ニ決メマシテ、

學校ノ方ソレノドレデ自分ノ學校ハ

試驗ヲスルカト云フコトヲ決定シタト

云フ順序ニナツテ居リマス、官立ノ學

校ニ於キマシテハ大體高等學校及ビ大

學豫科ハ第一期ノ方ヘ、專門學校ハ第

二期ノ方ヘト云フヤウニ振分ケテ考ヘ

マシタガ、一般ノ學校ニ於キマシテハ

試驗ヲスルカト云フコトヲ決定シタト

云フ順序ニナツテ居リマス、官立ノ學

校ニ於キマシテハ大體高等學校及ビ大

學豫科ハ第一期ノ方ヘ、專門學校ハ第

二期ノ方ヘト云フヤウニ振分ケテ考ヘ

マシタガ、一般ノ學校ニ於キマシテハ

今御答辯申上ゲタヤウナ趣旨ヲ決定シ

タ次第デアリマス

○高城委員 大體官立ノ專門學校ハ多

少ノ地域制ガ見ラレマスルカラ、大體

宜イト思ヒマスガ、私立專門學校等ニ

於キマシテハ、地域的ナ立場カラヤハ

リ分類ヲ或ル程度取捨按配スルト云フ

ヤウナコトガ必要デハナイカ、ソレカ

ラ第二期ハ法、文、理、醫、工、農ト

云フヤウナ、サウ云フ種類ノ面カラ所

謂配置ノ圖表ヲ作ツテ、ソレカラ一期、

二期、三期ヲ通ジテ一ツノ性格ヲ、各

期ニ持ツテ行ケルヤウナ風ニ系列ヲ正

スト云フヤウナコトガ、一ツノ問題ニ

ナツテ來ハシナイカト思フノデアリマ

ス、例ヘバ工科ナラ工科ニ行ク者ハ一

期ニモ、二期ニモ、三期ニモ官公私立

ヲ通ジテ旨ク流レテ行ケルヤウニ、又

地域的ニモソレ等ノ點ガ多少ノ制約ガ

アツテ、受ケルノニ便宜ノヤウニ持ツ

テ行クト云フヤウナコトガ必要デハナ

イカ、以上二點ヲ考ヘラレマス、其ノ

理由ハ、當該學校ノ希望ニ依ツテ分

類サレタコトハ、初期ノ段階トシテハ

已ムヲ得マセヌガ、非常ニゴタノ一

緒ニ集マツテ居リマシテ、偕テドウ云

フ風ノ流レデ一期カラ三期マデ受ケテ

行カウカト云フコトニ付テ、實際父兄

等ニ非常ナ迷ヒヲ生ジタヤウニ思ヒマ

ス

第六類第四號

船員保險法中改正法律案委員會會議錄

第八回

昭和二十年二月一日

六九

スノデ、是ハ來年ノコトデアリマスガ、先ダツテサウシタ御計畫ハ如何デアリマセウカ

○永井政府委員 地域別ニ、或ハ學科別ニ此ノ一期、二期、三期ノ試験ノ學校ノ配分ヲ致スト云フ風ニ細カニ考ヘテ行ツタラドウデアラウカト云フ御質問デアリマシテ、御趣旨洵ニ同感デゴザイマス、唯ハ實際ニ施行スルニ當ツテハ、中々簡單ニ行カナイノデアリマシテ、或ハ或ハ私立大學ト致シマスレバ、其ノ大學ニ於テハ豫科ヲ採ツテ居ル譯デ、其ノ豫科ニハ文科モアレバ、理科モアル、其ノ理科ノ中ニハ農學モアリ、醫學モアリ、何モアル、是等ガ豫科ト云フ所デ一緒ニナツテ居ル、隨テヤハリ其ノ某私立大學ニ於テハ文科モ理科モ、理科ノ中ノ學科ノ種別モ、同ジ豫科デアリ以上ハ、同時ニヤラナイト工合ガ悪いノデアリマス、サウ云フヤウナコトデ、施行上中々机上デ考ヘルヤウニ旨ク行カナイノデアリマシテ、今年採ツタ方法ニ依リマシテモ、御話ノヤウニ文科志望ノ者ハ、一期ニモ其ノ文科志望ノ者ヲ入レル學校ガアル、第二期ニモアル、第三期ニモアルト云フ風ニナツテ居ツテ、ヤハリ文科志望ノ者ハ一期ニモ二期ニモ三期ニモ受ケヨウト思ヘバ受ケラレル狀況ニナツテ居ルノデゴザイマス、唯御趣旨ノヤウニ出ルダケ之ヲ合理的ニシテ行クト云フコトハ、是ハ今ノ方法ガ完全トハ申セマセヌノデ、來年度ニ於キマシテハ種々研究ノ結果、何カ刷新スベキモノガアルニシタラ、遠慮ナク刷新シテ參ルヤウニ致シタイと思ヒマス

○高城委員 戰時ノ人材育成、配置ノ上カラ、サウ云フ點ニ付テハ一層御検討ヲ願ヒマシテ、特ニ特殊ニ無線電信ニ關スルコトトカ、飛行機生産ニ關スルコトトカ、サウ云フ特別ナモノニ付テハ分テテ系列ヲ正シテ、一ツ適當ナ人材ヲ得ラレルヤウナ風ニ御配慮願ヒタイと思ヒマス

次ニ小サナコトデアリマスガ、第一期ノ時ノ問題ガ出テ居リマス、此ノ入學試験問題ニ付テハ文部省デ御苦心ト思ヒマスガ、折角理科教育、科學教育ヲ振興セナケレバナラナイト云フヤウナ時デ、皆是ハ常識ニナツテ居ルノデアリマスガ、ソレニ關聯シテ問題ガ聊カ其ノ點ニ於テドウモ少シ「ピン」ガ合ハヌト云フヤウナ一般ノ話ガ出テ居ル、デスカラ餘リ「メンタルテスト」式ニ勤勞動員ヲ氣ニサレテ居リマスガ、モウ少シ基礎的な理科、數學方面等ニ關スル能力ヲ啓發的、指導的ニ持ツテ行ク關係カラ、作問シテ行クト云フ面ニ付テ餘地ガアルノデアリマスカと思フノデアリマス、如何デアリマス

○永井政府委員 官立ノ學校ニ對スル問題ハ文部省デ作成致シマシタ、只今其ノ問題ニ付テ御批判デアツタと思ヒマス、私ハ現在當面ノ責任者デハナクナツテ居リマスノデ、實ハ試験ガ濟ンデカラ後ニ其ノ問題ヲ初メテ見タリデアリマスガ、是ハ人々ノ感想デアリマシテ、斯ウ云フ時ニ申上ケルノモドウカト思ヒマスケレドモ、當初ノ根本趣旨デアアル所、詰リ學科ノ試験ヲヤラナイ、唯上級學校ニ入ル素質アリヤ否ナト云フ、其ノ素質ノ點ヲ見テ行クノデ、絕對ニ學科目ニ觸レナイト云フ當初ノ大目的、世間ニモ申シマシタ所ノ目的ニ實ハ副ツテ居リナガラ、可ナリ科學的知識ガナイト書ケナイヤウナ問題ガ出テ居ルト思ヒマシテ、實ハ昨

日アタリソレヲ見テ中々能ク出來テ居ル問題デアルト考ヘタ位デゴザイマシタ、アレ以上モウ少シ學問的なモノニ互リマスト、ヤハリ當初一般ニ關明致シマシタヤウニ、學科ニ互リマシテ、入學試験ノ準備ヲヤラナケレバ通ラナイ、サウ云フコトニナレバ學徒勤勞ノ趣旨ヲ没却シテ來ルト云フ風ニナルノデハナナカト思ヒマス、總ジテ學業ト勤勞トノ關係ヲドウスルカト云フ大キナ問題ニ付テハ、色々意見ガアルと思ヒマスガ、現在執ツテ居リマス文部省ノ態度トシテ考ヘマスレバ、實ハアノ程度ガ當初關明シマシタ趣旨ニ合ツテ居ルノデハナナカ、斯ウ實ハ思ツテ居ル次第デアリマス

○高城委員 其ノ問題ハ姑ク措キマシテ、勤勞學徒ニ對スル施策ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ハ大體二ツニ分類セラレル、第一ハ一般の勤勞務管理ノ問題デアリマス、第二ハ學徒勤勞ニ關スル中心課題デアル勤勞即教育ト云フ指標ニ掲ゲラレタ理念ノ問題デアリマス、是ハ學徒勤勞令ノ第三條ニ掲ゲラレタアツテ、文部省トシテハ大體ソレデ抑ヘテアルト云フコトニナツテ居ル譯デアリマスガ、此ノ第二ノ勤勞即教育ト云フ理念ニ付テハ、實ハ相當掘下ゲテ檢討シナイト、天下ヲ擧ゲテ今其ノ點ニ付テ低迷シテ居ルト云フ實情デアリマス、昨日モ仲井閣委員ノ方カラ行キ一體ニ關スル文部省ノ趣旨ヲ聽イテ居ラレタノデアリマスガ、尙ホ本日ハ是非此ノ點ヲ皆サント一緒ニ此處デ根本問題トシテ徹底的ニ究明シテ、サウシテ國民學校一千萬ノ學童、或ハ數百萬ノ學生、生徒ノ運命ニ付キモノデ、十分議會ヲ通シテ檢討スベキモノダト思フノデアリマス、隨ヒマシテ昨

日モ御話ガアリマシタガ、勤勞即教育ト云フコトニ付キマシテ此處デ長イ御話ヲ承ツテ居ルト云フコトモ如何カト思ヒマスガ、成ベク簡單ニモウ一度御述ベテ願ヒタイと思ヒマス、一寸名ヲ指シテ甚ダ相濟ミマセヌガ、總務局長ニ御願ヒシタイと思ヒマス

○永井政府委員 勤勞即教育ト云フ此ノ言葉ヲ色々ト解釋シ、合理的ニ定メ付ケテ參ル、サウシテソレガ教育論的ニドウ云フ風ニ意義ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ、深ク掘下ゲテ議論ラシテ行クト云フコトニ相成リマスレバ、是ハ様々ノ意見モ立チマセウシ、又之ニ對スル色々ノ反駁論モ起ツテ來ルコトデアラウト思ヒマス、學徒勤勞ニ付キマシテ勤勞即教育ト云フ標語ヲ掲ゲマシタノハ、決シテ只今申シマシタヤウニ之ヲ教育學上ノ一ツノ理論、主義ト云ツタヤウナ意味デハナイノデアリマシテ、サウ云フヤウナ意味デ詳シク定義付ケルト云フヤウナコトニ對スル所見ハドウデアルカ、斯ウ云フ御問ヒデアルト致シマスレバ、ソレハ聊カムヅカシイコトデアルト思ヒマス、唯學徒勤勞ニ付キマシテ勤勞即教育ト申シマシタル所以ハ、是ハサウ云フヤウナ教育論的な問題デハナシニ、勤勞スルト云フコトハ教育上要求サレテ居ル所ノモノデアル、隨テ勤勞ハ無論一面ニ於テハ現在ノ生産ヲ増進サセル爲ニ專ラ勤勞コトデアアルケレドモ、教育其ノモノノ面カラ見テモ、實ニ戰時ニ於ケル教育ハ斯ウシタ勤勞ヲ致スト云フコトガ、當然ニ要求サレテ居ルコトデアリ、隨テ勤勞ニ對スル學徒ノ心構ヘ、教職員ノ心構ヘ、又學徒ヲ使フ事業主等ノ心構ヘニ於テモ、常ニ勤勞ハ教育デアルト云フ理念、サウ云フ目標ニ基

イテ各、之ニ努力ヲスルト云フコトデアラネバナラナイト云フ氣持ヲ率直ニ申述ベ、之ヲ文教ノ方針トシテ行ツタ、是ガ勤勞即教育ト云フ標語ヲ掲ゲマシタル意義デアルト思フノデゴザイマス、大體右様ノコトデ御話承願ヒマス

○高城委員 是ハ言葉ノ言廻シノ都合デ仰シヤツタ譯デゴザイマスケレドモ、私共ノ見ル所デハ文部省ガ執ツテ行キマスル教育ノ施策ハ、是ハ教育學ノ全面的ノ内容ナルモノダト觀ジテ居ルノデアリマス、是ハ「ドイッ」ナドノ例ヲ取ツテモサウデアアル、教育學ト云フモノハ、教育施策ヲ離レテ唯別ニ教育學的なモノガ行クモノデヤナクテ、ソレハ過去ニ於テハサウ云フ時モアツタカモ知レマセヌガ、今日ハ皆卒然トシテ文部省ノヤツテ居ル施策ヲ教育學ノ生命内容トシテ、之ヲ更ニ深ク行クト云フ風ニ、一ツノ氣持デヤラウトシテ居ルノデアリマス、隨テ文部省デオ立テニナリマシタ色々ナ案ハ、總テ學問の内容ヲ限定シテ行クモノダト考ヘマスルノデ、私トシテハヤハリ學徒勤勞令ニ示サレ、數々ノ指導理念ハ、教育學ソレ自體デアルト、斯様ニ觀ジテ居リマスルガ何カデゴザイマス

○永井政府委員 私モ今教育學的ナ說明ト云フコトニ付キマシテハ、此處デ十分ナル御説明ヲ申上ゲル積リモナシ、其ノ資格モナイノデ、率直ニ考ヘテ居ルコトヲ申述ベタノデアリマスガ、多少マダ言葉ガ足ラナイ點モアツタカト思ヒマスガ、重ネテノ御話デアリマスカラ御答ヘヲ致シマス、從來ノ我が國ニ於ケル教育ト云フモノハ、是ハ明治以來ノ一ツノ傳統、又其ノ時節

カ

時節ニ應ジタ仕來リト云フヤウナモノ
ガアツタノガ、近年マデハ兎角坐學、
教壇教育、教壇ノ上カラ知識ヲ授ケル
ト云ツタヤウナ面、即ち坐學ガ教育デア
ルト云フ風ニ非常ニ偏シタ考ヘチガナ
サレテ居ツタ、是ハ單リ教育者バカリ
デナク、世間一般モサウ云フ風ニ取ツ
テ居ツタヤウニ思フノデアリマス、併
シナガラ抑、教育ノ目的ハ申スマデモ
ナク皇國ノ道ニ則ツテ皇國民ヲ鍊成ス
ルト云フノガ、不動一貫ノ教育ノ大精
神デアリマス、此ノ皇國ノ道ニ則ル皇
國民ノ鍊成ト云フ、其ノ皇國民トハ如
何ナル素質ヲ持ツベキモノナリヤト云
フコトニ相成リマスレバ、ソレハ唯單
ニ知ノ鍊成ガ出來タト云フコトダケ
デハ相成ラヌコトハ、モウ自明ノ理デ
アリマス、隨テ從來トモスルト教壇教
育、坐學ニ偏シテ居ツタ教育方法ト云
フモノヲヤリ變ヘテ、實踐教育ト申シ
マスルカ、體ヲ動カシテ自ラノ體驗ニ
依リ、實踐ニ依ツテ會得ヲ致シテ行ク
ト云フ方向ノ教育チヤラナケレバナラ
ナイト云フノデ、是ハ隨分前カラ——
大正ニ入ツタ頃カラデハアリマスル
ガ、段々文教ノ教育ノ方針ト云フモノ
ガ實踐教育ト云フ面ニ付テ強調サレテ
參ツタノデアリマス、ソレガ近年ニ至
リマシテハ、勤勞スルコトガ非常ニ必
要デアルト云フヤウナコトデ、此ノ戰
争ニナリマスル前ニ於キマシテモ、斯
ウシタ面ノ教育ガ強調サレテ居ツタ
ノデアリマス、併シナガラ何ト申シマ
シテモ從來ノ知ノ尊重ト云フモノガ中
中破リ得ナカッタノデアリマス、此ノ
意味ニ於キマシテハ洵ニ幸ヒナコトニ
此ノ事變ニナリマシテ、生産上ノ國家
ノ要求ト云フモノガ澎湃トシテ起ツテ
來テ、學徒ノ持ツ所ノ勤勞力ト云フモ

ノヲ要求ヲ致シテ參ツタ、所デ文部省
トシマシテモ、元々只今申シマシタヤ
ウニ身ヲ以テ體驗スル、實驗ヲス
ル、實踐ヲスルト云フ面ノ、詰リ勵タ
ト云フコトヲ教育ノ大キナ柱トシテヤ
ツテ行カナケレバナラヌガ、思フニ任
セナイト思ツテ居タ所デモアツタノデ
アリマスカラ、モウサウシタ生産上ノ
要求ト至クビツタリト一致シタ意味ニ
於テ、勤勞ト云フコトガ事實ニ於テ從
來豫期シタ以上ノ大キナ重要サヲ以
テ、茲ニ教育ノ面ニ跳リ出テ來タノデ
アリマス、隨テ此ノ坐學ノ面ト勤勞ノ
面ト兩々相俟ツテ、茲ニ眞ノ意味ノ教
育、多年文部省ガ非常ニ強ク要望シテ
居リマシタ眞ノ意味ノ教育ト云フモノ
ガ出テ參ツタ、殊ニ此ノ時局ニナリマ
シテ是等ガ精神的ニ大キナ裏付ケラシ
テ、皆國家ノ爲ニ自分等ハ働イテ居ル
ノダト云フヤウナ大キナ精神ヲ、其ノ
本ニシテヤツテ居リマスル點カラ申シ
マシテ、最初ニ申シマシタヤウニ皇國
ノ道ニ則ル皇國民ノ鍊成ト云フコトニ
ハ、洵ニ好イ機會ヲ得テ參ツタモノデ
アルト思ツテ居リマス、隨テ斯ウ云フ
意味ニ於キマシテ先程申シマシタヤウ
ニ勤勞ト云フモノハ教育ノ最モ大キナ
部門デアアル、詰リ勤勞ハ即教育デア
ルト云フ從來カラ持ツテ居ツタ文部省ノ
理念ト云フモノヲ、一層強調シテ唱ヘ
マシタノガ、勤勞即教育ト云フ題ニ相
成ルコトダト信ジテ居ル次第デアリマ
ス

重シテ居ツタト思ハレマス、デズカラ
是等ガ自分ノ缺點ヲ補正スル爲ニ、行
的ナ面ヲ教育ニ多分ニ採リ入レルト云
フコトヲ我々ガ考ヘルノハ當然デアリ
マスガ、現在ノ子供達ハ支那事變以來
既ニ我々ガ持ツテ居ツタ缺點ヲ相當ニ
薄メタ教育ヲヤツテ來テ居リマシテ、
言換ヘマスレバ、教育ノ鍊成ニ依ツテ
日本精神ト云ヒマスカ、皇道精神ト云
フカ、サウ云フモノヲ把握スルト云フ
ヤウナ點ニ於テハ、相當行的ナ面ガ進
ンデ居ルト思フノデアリマス、デスカ
ラ私が問題トシマスルノハ、例ヘバ道
場トカ、鍊成所トカ云フヤウナモノダ
ケアリサヘスレバ、モウ例ヘバ學校ハ
要ラナイ、斯ウ云フ風ナ形ニ今ノ若イ
者ヲイキナリ持ツテ行クコトガ許サレ
ルモノカドウカ、サウ云フコトニナリ
マス、結局今世上デ非常ニ此ノ問題
ヲ難點トシテ取扱ツテ居ル問題ガ、ソ
コニ發生シテ來ルノデヤナイカト考ヘ
マスガ、如何デゴザイマスカ

○永井政府委員 御説ノ如クニ此ノ勤
勞ガ即教育デアリマスガ、教育ハ勤勞
ダケデ萬事オ終ヒ、全部ダト云フ譯デ
ハナイノデアリマシテ、教育即勤勞デ
ナイ譯デアリマス、教育ニ付キマシテ
ハ、先程申上ゲマシタヤウニ、是ハ實
踐ノ部門、行ノ部門、實際活動ノ部門
ト云ラモノガ大キニ必要デアリマス
ガ、同時ニ今度ハ逆ニ詰リ知的ナ部分
ガ必要デアリ、知的ナ部分ガアリマセ
ヌナラバ、教育ノ全體ヲ包含シテ居ル
トハ絕對ニ申セナイコトデアアルノデ
アリマス、隨テ只今御話ノ如クニ所謂訓
練所デアルトカ鍊成所デアルトカ云フ
ヤウナ身體的ナ訓練ヲヤツテ居ルヤウ
ナ所ダケデ以テ、教育ガ満足サレルト
云フヤウナコトハ絕對ニナイノデアリ
マシテ、苟クモ教育ト云ヒマスル以上
ハ、ドウシテモ知的ナ訓練ヲヤル部分
ガナケレバ、是ハ教育トハ申セナイモ
ノデアルト考ヘマス

○高城委員 今教育ノ面カラ問
答致シテ居ル譯デアリマスガ、之ヲ更
ニ今一ツノ立場デ教育ノ方法ノ上カラ
檢討スルコトガ出來マス、詰リ知識、
技能ヲ修得サセルノニ行的ナ方法ヲ以
テヤルト徹底スル、能力主義ノ見地カ
ラ之ヲ持ツテ行ク考ヘ方ガアリマス、
詰リ教育ノ方法ヲ工場ナラ工場ニ持ツ
テ行ツテ、其處ノ體驗ニ依リ方法論的
ニ之ヲ把握シテ行クト云フ面デアリマ
ス、サウ云フヤウナ方法論的ナ意味カラ
モ私ハ行ガ叫バレルコトハ妥當デア
ルト思フノデアリマスガ、諸君問題ハサ
ウシタ方法論的ナ所謂行ガ確立サレルト
スレバ、行的ナ行キ方ヲ認メタルトス
レバ、其ノ修得スベキ對象タル所ノ知識
技能ノ系列ガ、工場事業場或ハ農場ニ
於テ正サレテ居ナケレバ、之ヲ行的ニ
攝取シテ行クト云フコトガ出來ナイ譯
デアリマスカラ、先ノ内容ノ面ト方法
ノ面ト兩面カラ見マシテ、詰リ受入側
ガ知識技能ヲ修得スベキ系列ニ置カレ
テアルカドウカト云フコトニ關シテ、
文部省ハ政治的ナ責任ガアルト私ハ考
ヘルノデアリマス、如何デアリマスカ

○永井政府委員 結局教育的ニ、工場
等ニ於テ勤勞ヲ致スト云フコトハ、是ガ
教育ノ必然ニ要求スル所デアルト云フ
以上ハ、其ノ精神のナ部門ニ於テハ其ノ
問題トシテ、知的ナ部門ニ於テハ其ノ
配屬サレタ工場ト其ノ學バントスル學
科ノ種類トガ系列的ニ同種ノモノデナ
イト、ハツキリ勤勞即教育ト云フコト
ガ満足サレナイデハナイダラウカト云
フ御質問デゴザイマシテ、是ハ全ク其
ノ通りデアルト思ヒマス、隨テ是ハ別
ノ言葉ヲ以テスルナラバ、學徒ノ適正
配置ト云フコトヲ完全ナラシメルト云
フコトニ依ツテ満足サルベキモノデア
リマス、然ル所現在學徒ノ適正配置ト
云フモノガ十分ニ満足サレルヤウニナ
サレテ居ルカドウカト云フ現實ノ問題
カラ申シマスナラバ、是ハ遺憾ナガラ
十分行届イテ居ルトハ申セナイノデア
リマス、是ハ昨年ノ正月急ニ學徒動員
ガ起ツテ參リマシテ、急速ニ次々ヘト
此ノ學徒ヲ動員致シテ參リマシタ關係
上、色々ナ實際ノ問題ト致シマシテ、
十分ニ本人ノ専門學科ヲ活カスヤウナ
動員ノ仕方ガ、ヤリ兼ネテ居ツタト云
フ實際上ノ理由ガアルノデアリマスケ
レドモ、併シナガラ是ハ決シテ満足サ
ルベキコトデハナイノデアリマシテ、
今後學徒動員ノ問題ニ付テ最モ大キナ
問題ハ、此ノ適正配置ト云フコト、殊
ニ御話ニナリマシタヤウナ意味ニ於テ
ノ適正配置ト云フモノヲ出來ルダケ能
クヤツテ行キタイ、但シ生産ヲ著シク
落スト云フヤウナコトガアリマシテハ
困リマスノデ、生産ヲ著シク落スト云
フコトノナイ限リニ於テハ、能フ限リ
適正配置ヲヤツテ行クコトニ依ツテ御
質問ノ趣旨、又我々ノ考ヘテ居リマス
ル點ガ満足サレテ行クノデハナイカト
考ヘテ居ルマス

○高城委員 今日日本中ノ總テノ人ガ
非常ニ心配シテ居リマス問題ハ、所謂
日本ノ武器デアリマス、ソレカラ色々
ナ戰爭推進ノ力デアリマス、此ノ日本
人ガ「アメリカ」ト戰ツテ敗ケルト云フ
コトハアリ得ナイコトデアリマス、唯
サウシタ物のノ面ニ非常ニ缺點ル所ガ
アル、サウシテ是ハ知識技能カラ其ノ
實體ガ生レテ來ルノデアリマス、デズ

カラ皇國ヲ護持スベキ信念ニ付テハ、最早陶治ノ必要ガナイ位出来テ居ルノデアリマス。今日トナツテハ工場ニ持ツテ行クコトガ、詰リ座學のデナイ人格のナ教育ヲスルト云フコトヨリモ、實際ニ今御話ノヤウニ知識技能ヲドウ持ツテ行クカト云フコトガ火急ナ問題デアル、而モ學徒ノ數ハ國民學校カラスマデ入レルト數千萬ニ及ブデアリマス、故ニ此ノコトヲ皆ガ心配ラシテ居リマス、ダカラ今御話ノヤウニ責任ヲ以テサウシタ知識技能ヲ練成シ得ル場面、竝ニ方法ヘドウ持ツテ行クカト云フコトニ付テハ、私ハ文部省トシテ大キナ調査ト政治力トヲ御持チニナラナケレバナラヌト思フ、唯一動員課位ナ仕事デハ駄目ダト思フ、成程文部省全體ガ之ニ取掛ツテハ居ラレマス。ケレドモ、外部カラ見マシタ所ニ依リマス、モット強力ニ、而モ相當ナ援護機關ナリ或ハ報道機關ト云フカ、或ハ政府内部ニ於ケル色々ナ面ヲ進捗サレマシテ、此ノ點ニ付テハシツカリ「メス」ヲ入レテ掘リ下ゲテ行キマセヌト、現在ノ狀態デ行キマスルト、非常ニ危險ナ狀態ヲ招來スルト云フコトニ皆ガ心配ヲ致シテ、議會内デモ議論ニナツテ居ルヤウナ次第デアリマス、皆テウツカリシマス、教育ノ自然ノ發展カラ工場ニ持ツテ行ツテ、丁度落著イテ宜シト先程御話ガアリマシタガ、サウ云フヤウナ風ニ是ガ教育ノ本義カラ、斯ウ云フ形ニナツタヤウニモ一應御話ガアリマシタガ、今ノ御話デサウデハナイ、突然ノ戰局ノ要請カラ斯ウナツタデカラ、ソコノ所ニ繋ガラナイ所ガアル、教育的ニハ必ズシモ目指ス目標デハナイケレドモ、ソコノ所ニ格段ニ方式ヲ變ヘタンドト

云フヤウナコトニナツタ、私ハソレデ宜イト思フ、實際ノ現在ノ戰局ガサウシタ教育ノ理論ヲ乘リ越エテ、卒然トシテ此ノコトニナツタ譯デアリマス。カラ、ソレハ宜イノデアリマスガ、ソレデアレバ課程、ソコノ所宜イ加減ナ便乗シタ議論ハ止メテ、斷乎トシテ實際問題トシテハ教育ノ面ニ今御趣旨ノ通りニ動イテ行カナケレバナラヌト斯ウ思フノデアリマス、ソコニ軍需省ナリ厚生省ナリノ全體トシテ此ノ問題ヲ心配シテ實ハナケレバナラヌ點ガアルト思フノデアリマス、所ガ現在デハ教育者自體ノ中ニモ非常ニ迷ツテ居ル、教育ニ關心ヲ持ツテ居ル人ナシガ學校ハ止メタラ宜イ、却テ其ノ方ガ危險ガナクテ宜イ、斯ウ云フ曖昧ナ形式主義ヲ、教育ト云フヤウナ實體ノ世界ニ持ツテ行ツテハ將來ガ慮レラレル、斯ウ云フ風ナ意見ガアル位デアリマシテ、悲觀のニ、消極のニ、傍觀のニ見テ居ル人サヘモ段々アルノデアリマス、ソコデ現在ノ動員ハ、少シ話ガ長クナリマス。ルガ、兎ニ角教育ヲ超越シタ立場カラ出發シテ居ルノダ、併シナガラ之ニ教育ノ意味ヲ持タスンダ、唯單ニ訓令ニモアリマス。通り、經濟學的立場カラ、勞務ヲ供出シタダケデナイ、學徒ノ非常ニ高次ナ倫理行動カラ、是ハ慨然トシテ國ノ爲ニ立ツタモノデアル、斯ウ云フヤウナ點ニ付テ問題ヲ置キマシテ、サウシテ文部省ハ學徒動員ニ關シテハ素直ニ所見ヲ御立テニナツタ方宜イ、私ノ見ル所、訓令其ノ他ヲ見マシテモ、ドウモ言葉ハ結構デアリマス。ルガハツキシナイ點ガ非常ニアルノデアリマス、學校閉鎖ト云フ論者ノ言ノヤウニ、其ノ時期ガ到來スルモノデアルカナイカト云フヤ

ウナコトニ付キマシテモ、唯單ニ戰局ノ段階ダケニ依ラズ、ヤハリ政府内部ニ於ケル施策ノ段階ニ依ツテ左右セラレルト云フヤウナコトニナリマス。ルト、實際教育家ノ面ニハ非常ニ不安ガアル、生徒ノ自體ニモ不安ガ出テ來ルノデアリマス、殊ニ產報關係或ハ工場關係等ハ、モウ徹底のニ閉鎖論ヲ唱ヘラレルノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテ如何御考ヘデアリマス。カ

○永井政府委員 學校閉鎖ト云フコトハ是ハ政府ノ方針ト致シマシテハ考ヘテ居リマセヌ、將來如何ニナルヤト云フコトハ方針上ノ問題デハナクシテ事實上ノ問題デアラウト思ヒマス、事實此ノ戰局ノ如何ニ依ツテ學校ヲ繼續シテ行ケナイト云フコトガ若シモ萬一アリト致シマシレバ、如何ナル方針ヲ取リマセウトモ學校ハ閉鎖ヲ致サナケレバナラナイノデアリマシテ、是ハ事實ノ問題デアリマス、現在方針ト致シマシテハ學校ハ閉鎖シナイト云フコトニ政府ノ方針トシテハツキリ決マツデ居リマス、又現ニ當テヤハリ學校ヲ閉鎖シテハドウカト云フヤウナ、是ハ生產面ノ方ノ、詰リ事業主等ノ方面カラサウ云フ論ガアツタコトガゴザイマス、所ガ又最近ニ於キマシテバ、ドウモヤハリ考ヘテ見ルト學徒動勞ト云フモノガ生産能率ノ點カラ言ツテモ、何トシテモ、非常ニ效果ヲ擧ゲテ居ルト云フヤウナコトデ、寧ろ學校ヲ卒業シテバ、一ノ工員トシテ動勞セシムルデナシ、學徒ノ形態ニ於テ、學校ノ背景ニ於テ動勞セシムルヤウナコトニナレバ宜シト云フ、切ナル望ミガ同ジ、事業主ノ所カラ要求ヲサレテ參ツタト云フヤウナコトモアルノデゴザイマシテ、サウ云フ生産能率ノ面カラ見

マシテモ、何トシテモ學校ヲ閉鎖シテ、學徒ヲバラ／＼ノ工員トシテ使フト云フヨリモ、學校ヲ背景ニシ、母校ヲ中心ニスル集團組織ノ活用ニ依ツテ、生産ニ從事セシムルト云フ方式ガ最も有效デアルト云フコトガ、生産ノ面カラモ申サレテ居ルノデアリマシテ、隨テ此ノ面ダケカラ申シマシテモ、學校ノ閉鎖ト云フコトニ付キマシテハ、只今ノ政府ノ方針モサウナツテ居リマセヌシ、我々ト致シマシテモ將來サウスル積リハ持ツテ居リマセヌハ、學徒ガ如何ナル作業ニ從事セシメラル、カト云フコトニ依ツテ決定サレル、尙ホ先程適性化ト云フコトガ考ヘラレルト云フ御話デアリマス、尙ホ今ノ御話デ閉鎖ニ關スル點ニ付テ明快ニ御示シニナツタコトハ洵ニ然ルベキコトト思フノデアリマス、要スルニ學徒工員ノ今日ノ力ト云フモノハ、事實戰爭ノ動カシテ居ルト言ツテモ宜イノデアリマシテ、ドウ云フ風ニ之ヲ動勞即教育ニ持ツテ行クカト云フコトニ付テ具體的ナ問題トシマシテ、私ハ色々方法ガアルト思ヒマスガ、一ツノ提案ヲ致シタイト思フノデアリマス、ソレハ學徒ニ動勞上ノ詰リ其ノ實體ニ付キマシテ、作業ニ付キマシテ責任ヲ擔制ヲ持タセル、例ヘバ飛行機工場デアリマシテモ、成ルベク幅廣ク學徒ニ直觀セシメテ、サウシテ高學年ノ生徒ハ複雜ナ所ヲ、低學年ノ生徒ハ簡單ナ部分的ナ方面ヲ擔當スル、サウシテ全體ニ一ツノ學校單位デ、工場單位デ、責任單位デ、而モソレガ學問のナ幅ヲ持チ得ルヤウニ作業ヲ與ヘルト云フコトニ大イニ工夫ヲシテ、再配置ヲシテ行クト云フコトガ一ツノ問題デハナイカト思フ

ノデアリマス。ルガ、如何デゴザイマス

○永井政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ文部省カラ御答辯ヲ申上ゲルノハ筋違ヒカト思ヒマスガ、學徒動勞ヲ主管致シテ居リマス。ル我々ノ氣持カラ申シマシテ、是ハ全部ガ、全部ノ工場ガ御話ノヤウナ風ニ行カナイコトハ自明ノ理デアリマスガ、一ツ學徒ダケヤレルヤウナ工場ヲ試シテヤツテ見ルト云フコトニナルト、是ハ案外非常ナ成績ガ擧ルノデハナイカ、尤モ學徒ダケデハアリマセヌ、企業者及ビ最高ノ技術指導者ト云フモノハ是ハ要ル譯デアリマスガ、其ノ他ノモノニ付テハ學徒ダケデヤツテ見ルト云フヤウナ工場モアルト、學徒動員ノ效果ニ非常ニ面白イ結果ヲ來スノデハナイダラウカト云フヤウナ氣持ヲ持ツテ居リマス。ルガ、併シ是ハ政府ノ方針トシテ申上ゲラルハ、文部省ノ政府委員カラハ申上ゲラレマセヌノ御諒承ヲ願ヒマス

○高城委員 今ノ御話ハ大變愉快ナ話デアリマシテ、私ハ勿論厚生省ニ此ノコトヲ持ツテ行クト云フ從來ノ慣例カラシテ不満足ナノデアリマス、文部省自體ニ於テ是非サウ云フ風ニヤツテ見タイ、文部省即政府ト云フ氣持デ一ツ推進シテ見タイト云フ風ニ、文部省ガ考ヘテ下サツタコトヲ非常ニ愉快ニ思ヒマス、是ナクシテ、即チ本體ガサウ云フ風ニ確立シナイデ、寄合世帯デサウ云フモノヲ作ツテ行カウト云フテモ私ハ出來ナイト思フ、斯ウデアラネバナラヌト云フモノヲ卓拔ニ斷行シテ示ス所ノ、責任ヲ取ツテ腹ヲ切ル官廳ガ一面ニアレバ、必ズ私ハ他ノ面ニ於テソレニ協力シテ來ルノダト思ヒマス、即チ動勞即知識技能ノ練磨即學徒

ノ鍊成ト云フ政治的責任ニ於テ、工場
ニ手入ヲ文部省ガシナイト云フコトデ
アツテハ、私ハ此ノ問題ハ解決シナイ
ト思フ、多クノ人達ハ寧ロ閉鎖セイト
カドウトカ云フ議論ガ出ルノハ、總テ
文部省ノ面ニ於テ今御話ノ點ヲ相當突
込シテ、自ラ燃エ上ツテヤツテ下サル
コトニ依ツテ、私ハサツバリ解決スル
問題ダト思フ、枝葉末節ハ皆吹キ飛シ
デシマウ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデ
アリマシテ、非常ニ愉快ニ感ズル次第
デアリマス、一寸餘談ニナリマスル
ガ、凡ソ此ノ燃エ上ツテヤルト云フコ
トハ自覺シナケレバ出來ナイノデアリ
マス、一體自分ガヤツテ居ル此ノ奮
ギハ、此ノ材木運搬ハドウナツテ、斯ウ
ナツテ、ア、ナルノダト云フコトガ、

全部見透シガ利カナイ限リハ燃エ上ル力
ハ出ナイ、學徒動員ニ限ラズ、日本國
民ノ總テノ運營ノ仕方ニ付テハ、政府
ニ對シテ我々ガ非常ニ不滿ヲ感ズル
ノハ其ノ點デアリマス、特ニ學徒ハ敏
感デアリマス、何デモ能ク分ル、全
部ヲ自覺ノ系列ノ上ニ置イテ引張ツテ
行クト云フコトハ、重要ナ基點デア
ト思フノデアリマス

第二、學校ヲ工場化スルト云フコト
ガ叫バレテ居ルガ、是ハ唯單ニ機械的
ナ學校工場デハ駄目デアアル、氣魄ニ於
テ工場ヲ學校化スル、其ノ端のナ現ハ
レトシテ學校工場ト云フ位ノコトデハ
イケナイ、工場ヲ學校化スル、一ツノ
學校ヲ單位工場ニ持ツテ行ク、サウシ
テ教師ガ雙肌脱イデ、教師自體ガ生徒
ニ先行シテ其ノ工場ヲ運營スルト云フ位
ノ氣持デ行カケレバナラナイ

第三、現在ノ教員ノ態度ハ専ラ傍觀
的デアリマス、寒イ時ハ事務室デ手ヲ
炙ツテ居ル、成程教師ガ惡イトハ言ヘ

マスケレドモ、一面ニハ仕事ノ系列ト
内容ヲ與ヘラレナイ、所謂知のナ内容
ヲ與ヘラレナイ、ソコニ熱情ガ湧カナ
イノダト思フノデス、隨ヒマシテ文部
省ニ希望致シマスルコトハ、此ノ教員
ヲ鍊成シテ戴キタイノデアリマスル
ガ、併シ其ノ以前ニ今申シマシタ三點
ニ付テ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○村松委員長 高城君、今ノ學校工場
ノ問題ヲ要約シテモウ一度御發言願ヒ
タイ

○高城委員 一ツノ學校ニ機械ヲ持ツ
テ來テ工場ニスル、學校ヲ工場ニスル
ト云フ問題ハ是ハ分リ切ツテ居ル、サ
ウデナシニ、私ガ申シマスノハ工場ヲ
一ツノ教育系列デ運營スルト云フ意味
デ申上ゲタノデアリマス

○永井政府委員 工場ノ學校化ト云フ
御話デアリマスガ、是ハ中々難シイ御
話デ、私モ能ク御趣旨ガ酌ミ取レマセ
ヌ、私共ノ立場カラ言ヒマスナラバ、
學徒勤勞ヲ工場ニヤリマスルニ付テ
ハ、工場ガ學徒勤勞ヲ受入レルニ十分
ナル資格アル、教育的界氣デアアルヤ
ウナ工場デアリタイト云フコトハ非常
ニ懇望致シテ居リマス、併シ工場自體
ヲ學校化スルト云フコトニナリマス

是ハ文部省ノ所管外デアリマスルシ、
同時ニ又其ノ問題ハ企業形態ニ付テノ
根本ニ觸レテ參ルコトカト思ヒマス、
詰リ御話ノ點ハ工場ノ企業形態ヲ、教
育のナ企業形態ト云フモノニシテシマ
ツタラドウデアラウカト云フ結論ニ到
達スルノデハナイカ、要スルニ企業經
營ノ方式ニ付テ、利潤ヲ基準トスルモ
ノカ、或ハ精神、言換ヘバ教育的經
營ト云フモノヲ中心トスルモノカト云
ツタヤウナ、企業形態ノ方ノ問題ニナ
ラウカト思ヒマスノデ、一寸御答ヘガ

致シナイノデアリマス

○高城委員 工場ノ學校化ト云フノ
ハ話ガ大キクナツタカモ知レマセヌ
ガ、ドンナ工場デアリマシテモ、一ツ
ノ完成品ナリ、或ハ部品ナリヲ作り上
ゲルニハ幾多ノ段階ヲ持ツテ居リマス
カラ、相當ソコニハ知識技能ノ面カラ
見ルト「ヴァライエティー」ヲ持ツテ居
ル、其ノ一ツノ工場ガ持ツテ居ル幾多
ノ知識技能ニ「タツチ」スル其ノ面ヲ、
ズット一ツノ知識技能ヲ獲得スル系列
カラ見テ、全面ニ互ルヤウナ風ニ取扱
ツテ行ク、斯ウ云フ意味ナンデスガ、
御分リデセウカ

○永井政府委員 ドウモハツキリ分ラ
ナイノデゴザイマスガ、私一寸別ノコ
トデ、現在或ル私立ノ工業專門學校デ
ゴザイマスガ、近年認可シタノガアル
ノデアリマス、是ガ當初ノ理想通りニ
行ツテ居ルカドウカハ別トシテ、其ノ
當初ノ計畫ト云フモノハ大變面白イノ
デアリマス、ソレハドウ云フヤウナモ
ノカト云フコト、コ、ニ全ク私ノ會社
ノ機械工場ガ一棟アル、其ノ次ハ電氣
ノ工場ガ一棟アル、其ノ次ニ又應用科
學ノ工場ガアル、サウ云フモノヲ一緒
ニシタ工場ガアルカドウカハ別ニシ
テ、其ノ一棟ノ大キナ工場ノ先ニ持ツ
テ行ツテ教室ガ付イテ居ル、サウシテ
電氣ノ生徒ハ電氣工場ノ棟續キノ教室
デ坐學ヲヤツテ、又電氣ノ方ノ工場ヘ
行ツテ生産ニ從フ、機械ノ方モ應用化
學ノ方モサウ云フ風ニスル、是ハ一體
學校ダカ、工場ダカ、兩方含ンダヤウ
ナモノガ運轉サレテ居ル、併シ是ハ學
校ニ屬スル部分ハ某私立工業專門學校
デアリマシテ、工場ニ屬スル部分ハ某
私立工業會社デアリマス、現在ノ教育
令ト云フモノハ、其ノ二ツヲ一緒ニ大

キク含ンダ學校ト云フ觀念ハゴザイマ
セヌノデ、形式上ハ無論別々ニナツテ
居ルノデアリマスガ、如何ニモ全體的
ニ眺メテ見ルト、工場ト學校ト云フモ
ノガ、密接不可分ナ様子ニナツテ居
ル、斯ウ云フヤウナ狀況ト云フモノガ
色々今後考ヘラレタラ宜イデハナイ
カ、今日ノ如ク學徒動員ト云フモノガ
行ハレテ居ルコトガ、是ガ或ル恒久化
サレテ行ツタ場合ニ於テハ、サウ云フ
ヤウナコトヲ考ヘテ行ツテハドウデア
ラウカト云ツタヤウナコトデアルト致
シマスレバ、ソレハ大變面白イ試ミデ
アルト思ヒマス、サウ云フ意味合ニ於
キマシテナラバ理解スルコトガ出來マ
スルシ、贊成デゴザイマス

○村松委員長 高城君ニ御諮リ致シマ
スガ、兵務局長ガ見エラレマシタ、非
常ニ急イデ居ラレマスカラ、此ノ際最
上君ニ發言ヲ許シタイト思ヒマス――
最上政三君

○最上委員 私ハ陸軍當局ニ極ク端的
ニ三點バカリ御質問ヲ致シテ見タイト
思フノデアリマス、第一點ハ出陣學徒
ノ近狀ト、最近ノ志願者狀況ト、昨年
ノ徵兵猶豫ノ恩典ガ廢止サレ、其ノ後
兵役年齡ノ低下ノ結果トシテ、專門學
校以上ノ學徒ノ多數ハ、學業半バニ學
窓ヲ離レ、勇躍軍ニ從フコトナリマ
シタ、斯クテ所定ノ教育ヲ終ヘルヤ、
早クモ或ハ荒蕪トナリ、中ニハ神風隊
トナリ、其ノ他各地ニ赫々タル戰果ヲ
擧ゲ武勳ヲ收メテ居ルコトハ、我々國
民トシテ感謝感激ニ堪ヘナイ所デアリ
マス、其ノ後應召ノ學徒モ、或ハ航空
隊ニ、或ハ飛行部隊ニ、或ハ電波兵器
關係ニ入隊入團シテ、米英擊擢ノ爲メ
猛烈ナル訓練ヲ受ケラレテ居ルコトト
考ヘルノデアリマス、是等ノ出陣學

徒、或ハ學窓ニアル所ノ學徒ノ近況ニ
付テ御差支ナイ範圍ニ於テ承リタイト
思ヒマス、又最近ニ於ケル學徒ノ陸軍
各學校ヘノ志願狀況ハドウデアリマセ
ウカ、是等ノ點ニ付テ詳細御答辯ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○那須政府委員 一昨年學徒總出陣ノ
大命ガ下リマシテ、勇躍入隊致シマシ
タ學徒ハ、流石ニ其ノ時局ノ緊迫セル
狀況ニ感激シ、又學徒タルノ矜持、名
譽ヲ強ク持テマシテ、軍隊ニ入りマシ
テ以後ノ成績ハ一般ニ良好デアリマ
ス、體力的ニハ出陣學徒ノ一人ト雖モ
漏レマシタ場合ニハ、當時ノ學徒ノ氣
分ト云フモノハ、腹ヲモ切ツテ死ナウ
ト云フヤウナ勢ノ者モ多數アツタ位デ
アリマスガ、相當體力ノ弱イ者モ入ッ
タノデアリマス、サウ云フヤウナ關係
デ一般ノ場合ニ比シマシテ、若干落チ
ルノデアリマスルガ、士氣ハ寧ロ比較
的旺盛デアリマス、今日ハ既ニ其ノ大
部分ハ幹部候補生ニ採用セラレマシ
テ、豫備士官學校其ノ他ノ所デ教育ヲ
受ケマシテ、大部分ハ之ヲ終了致シマ
シテ目下見習士官トナリマシテ、既ニ
第一線ニ或ハ國土ノ防衛ニ活躍中デア
リマス

次ハ志願者ノ狀況デアリマスガ、青
少年ノ時局認識ハ戰局ノ進展ト共ニ頓
ニ上ツテ居リマシテ、奮ツテ直接第一
線ニ參リマシテ、最モ困難ナル狀況ニ
於テ自ラ身ヲ以テ、又血ヲ以テ國家ニ
御奉公シヨウト云フ熱烈ナル氣風ガ特ニ
揚ツテ居リマシテ、陸軍關係ニ於キマシ
テモ諸學校生徒ノ志願ノ熱意ハ近來頓
ニ揚ツテ居リマス、軍ト致シマシテハ其
ノ多數ノ志願者ノ中カラ、特ニ指揮官
ノ重要性ニ鑑ミマシテ、質ヲ選ンデ採
用シテ居ル次第デアリマス、此ノ志願

者ト採用者トノ比率ニ付キマシテハ、採用數ト志願者ノ關係ガ、逐年採用數モ相當ニアル關係上、各年次毎ノ比較ハ取レマセヌガ、一例ヲ申シマス、十九年度ニ於キマシテハ陸軍豫科士官學校デハ十五人、少年兵デハ十二人、但シ少年兵ニ依リマシテハ非常ニ高度ノ比率ヲ採ラレマシテ、採用ノ漏レタ者ニハ全ク氣ノ毒デアルト云フ感モ致シマス、特別幹部候補生ガ六人、斯ウ云フ位ノ狀態デアリマス、其ノ外昨午カラ時局ニ即シマシテ緊急ニ幹部ガ必要デゴザイマスカラ、從來ノ幹部候補生ノ外ニ、高等專門學校在學中ノ者カラ特別甲種幹部候補生ヲ採用スルコトニ致シマシタ、之ノ志願者モ在學中ノ者及ビ卒業ノ者モアリマスガ、專門學校程度ノ、大部分ハ法文系統デアリマスガ、非常ニ熱心ナモノデアリマシテ、大體陸海軍ニ參リマシタノデスガ、陸軍關係ニ於キマシテモ三人、一人位ノ割合ヲ採用セラレマシタ、其ノ他ノ者ハ一般幹部候補生トシテ採用セラレテ居ル狀態デアリマス、其ノ少年兵ト云ヒ、特別幹部候補生ト云ヒ、特別甲種幹部候補生ト云ヒ、陸軍豫科士官學校等ノ採用試驗ノ現場ニ臨ミマシタ場合ニ於キマシテハ、涙ガ出ルヤウナ狀況ガゴザイマシテ、血書ヲシテ出スト云フヤウナ者ハ枚擧ニ遑ガアリマセヌジ、其ノ言フ所ハ悉ク特政隊ノ後ニ續クト云フノ唯一ノ念願ニシテ居ルノデアリマス、可憐ナル少年兵、特幹アタリノ小サイ子供ガ、ソレダケガタツタ一ツノ理由デアリマシテ、一日モ早ク身ヲ以テ國家ニ御奉公シヨウ、斯ウ云フヤウナ氣持ガアリノト見エマシテ、國內ノ青少年ノ旺盛ナル士氣、殉國ノ精神

ヲトスルニ足ルト共ニ、私共ハ大イニ意ヲ強クシ、又皇國ノ必勝ヲ信ズル點ガ固クナル次第デアリマス

○最上委員 只今學徒ノ純忠ナル精神ノ横溢セル點ヲ述ベラレテ洵ニ結構デアリマス、私ハ海軍ニ付テモ聽キタイノデアリマスガ、大體是ト同様ト解釋シテ海軍ニ付テハ之ヲ問ヒマセヌ、第二點ハ軍事教練強化ト其ノ後ノ狀況デアリマス、昨年四月カラ文部省ニ於テハ全國國民學校ヨリ大學ニ至ルマデ、教育機關ノ全課程ヲ通ジテ軍事教練ノ全面的強化ガ、陸軍當局ト色々打合せノ結果決セラレマシタ、特ニ大學、高等專門學校等ニアル學徒ニ對シテ入營後直チニ士官タルニ堪ヘルマデノ軍事教練ヲ施行スルコトナツタコトハ御承知ノ通りデアリマス、然ルニ其ノ後學徒通年動員等ガ、又ハ疎開等ガアツテ、實際實施セラレルニ付テハ相當ノ難關ガアルコト思ハレマスガ、軍當局ニ於テハ軍事教練ノ其ノ後ノ經過、又現狀ニ付テドウ云フヤウニ御見透シデアリマセウカ、此ノ點ニ付テ伺ヒタイノデアリマス

○那須政府委員 昨年ノ春時局ニ即應致シマシテ、軍ト文部當局ト協力致シマシテ學校教練ノ強化ヲ行ハレルコトニナツタノデアリマス、間モナク時局ノ要請ハ愈々、生産ノ急ナルヲ告ゲマシテ、固ヨリ學校教練強化ノ方針ニ聊カモ變リハゴザイマセヌガ、實施ニ當リマシテハ暫ク生産ガ之ヲ凌駕スルト云フ狀況ニ立至リマシテ、之ニ對スル處置ヲセラレタノデアリマス、即チ軍ニ於キマシテハ教練ノ檢定ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、其ノ狀況ニ即スルヤウニ考ヘルト共ニ、文部當局ニ於カレマシテモ學校教練ノ實施時間其ノ他ニ

付テ、考慮ヲ拂ハレルコトニナツタノデアリマス、併シ此ノ勤務ニ出ル者ハ固ヨリ生産ニ從事スルコトハアリマセウガ、軍要員タルノ要求ニ聊カモ變化ハナイ、就中學徒ハ軍ノ最モ期待スル指揮官ノ候補者ニナル譯デ、指揮官ノ成否ガ軍ノ成否ニ如何ニ影響スルカト云フコトハ今日論ヲ俟タイ所デアリマス、隨ヒマシテ軍ト致シマシテモ生産ニ没頭スルト云フコト共ニ、軍要員タルノ體力、精神力、又所要ノ軍事能力ニ付テ遺憾ノナイヤウニスル爲メ、生産ヲシツ、其ノ精神、體力、技術ノ向上ヲスルコト云フコトニ付テ、強度ナル指導ヲシタ次第デアリマス、又教練ノ查閱等モサウ云フ考ヘデ見テ參ツタノデアリマス、最近徵兵檢査及ビ特別甲種幹部候補生ノ入校ノ狀況ニ照シマスト、一部ニ於テ徵兵檢査等ニ於キマシテモ少シ弛ミガ來テ居ルノデハナイカト云フ感ガシタ所モアリマス、又軍隊ニ入りマシテ直チニ幹部タルベキ豫備士官學校ノ基本教育トシテハ、少シ物足ラヌト云フ狀況ガナイデモナイノデアリマス、隨ヒマシテ今日急グ狀況ニ於キマシテハ、此ノ上トモ生産ニ從事シツ、例ヘバ資材ノ關係デ手待チガアルト云フヤウナ時、或ハ朝晩、凡ル機會ヲ利用シテ此ノ軍事能力ノ増進ニ創意工夫ト、零細ナル努力ヲ拂ツテ行ク必要ガアルト思フノデアリマス、尙ホ此ノ軍事訓練ノ強化ト生産トノ關係ハ、今後戰局ニ即應シテ地域のニ、又狀況のニ、實情ニ即スルヤウニ機動力ヲ發揮シツ、ヤツテ行カナケレバナラナイノデハナイカ、例ヘバ現ニ敵ニ直面シテ居ル方面ニ於キマシテハ、モウ生産トコロカ先ヅ防衛ニ專念シテ居ル場所モアルノデアリマス、

又今後生産ト防衛トノ關係ガ、色々ナ形ニ於テ戰局ニ即應シテ現ハレテ來ルト思ヒマスガ、此ノ間ニ處シテ學徒ハ皇國防衛ノ、又皇國決勝ノ最モ重大ナル狀態ニ、最モ吻合スル狀態ニアラシメナケレバナラナイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○最上委員 能ク分リマシタ、第三點ハ理工科以外ノ學校ヲ一時休止スルノ可否ニ付デアリマス、戰局ハ愈々苛烈憤慨ヲ極メ、今後軍動員ハ勿論産業動員ノ強化サレルハ我々ガ言フマデモアリマセヌ、隨テ一部論者ハ——私ハ之ニ付テハ多少意見ガアリマスガ、一部説ヲナス者ハ「ドイッ」ノ根コソギ動員ヲセヨ、「ドイッ」ニ於テハ理工科系以外ドノノ學校ハ休止シテ、前線或ハ銃後ニ於テ活動サセテ居ル、サウ云フ意味ニ於テ理工科系ノ學校ヲ殘シテ、他ノ文科系其ノ他ノ學校ヲ一時休止シテ、是等ノ學徒ニシテ適當ナル者ハ軍關係ノ學校ヘ、又ハ國土防衛ニ從事セシメ、他ハ産業方面ニ勤務サセシメト論モアリマスガ、陸軍當局ニ於テハ之ニ付テ如何ナル御所見ガアリマスルカ、伺ヒタイト思ヒマス

○那須政府委員 學校ノ廢止又ハ休止ニ付キマシテハ、軍ト致シマシテハ直接ノ主務外デアリマスカラ言明ヲ避ケタイト思ヒマスガ、飽クマデモ今後ノ戰局ニ即應シマシテ、最モ決勝ノ祕策ノ實行ノ出來ルヤウニ、今後研究セラレベキモノダト思ヒマス、尙ホ軍ト致シマシテハ現在ノ所理工科以外ニ於キマシテハ上級專門學校ノ者ハ、適齡ニ達シタ者ハ全部軍要員ニ戴イテ居リマス、又適齡未滿ノ者ト雖モ、十七、十八歳ノ者ハ今日第二國民兵ノ兵籍ニ入リマシテ、最近簡閱點呼モ行ハレ、

在郷軍人防衛隊ヲ編成シテ、一旦事アル時ニハ直チニ銃ヲ執ツテ立ツヤウナ態勢ヲ整ヘツ、アルノデアリマス、其ノ他在郷中カラ陸軍ノ特別甲種幹部候補生、特別操縱員習士官、海軍ノ豫備學生等ニ戴イテ居ル次第デアリマス、今日戰局ニ即應シテ幹部ガ非常ニ重要デアリマシテ、而モ多數迅速ニ出ス關係上、相當數ヲ軍ノ要員トシテ之ニ期待ヲシテ居ル次第デアリマス、今後ハ戰局ノ要求スル所ニ基イテ、戰局ニ即應スルヤウニ逐次斯ウ云フ點ハ強化サレルヤウニ、文部當局トモ連繫ヲ密ニシ實行シツ、アルノデアリマス

○最上委員 私人質問ハ終リマシタガ、最後ニ昨年デアリマシタカ、局長ハ此ノ席上ニ於テ青年學校ノ本科卒業者ニ對シテ、從來ノ程度優秀ナル者ニ對シテハ、特別幹部候補生トシテ志願ハサセラレナイガ、或ル別途ノ制度ヲ設ケテ、青年學校ノ優秀者ヲ何等カノ方法ニ依ツテ幹部ニセシメルベク考慮シテ居ル、又研究中デアルト云フ御答辯ガアリマシタガ、其ノ問題ハドウ云フヤウニ御發展ニナリマシタカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○那須政府委員 軍ト致シマシテハ昨午カラ特別幹部候補生制度ヲ設ケマシテ、此ノ中ニハ中學三年以上ノ所謂在學中ノ「クラス」ノ者ト、又之ニ匹敵スル青年學校在學中ノ優秀者ヲ相當ノ率ヲ採用シテ居リマシテ、之ヲ現在有力ナル下士官ノ基礎ト期待シテ居ル次第デアリマス、又其ノ成績ハ極メテ良好デアリマス、尙ホ此ノ者ハ將來進シテ會テ中等學校ニアツタ者デアラウト、青年學校デアラウト、同ジヤウニ將校タルノ道ガ逐次開ケルヤウニナツテ居リマス、其ノ外ニ於キマシテハ、最近

モ必ズシモ中學校在學中デナクテモ、豫科士官學校、經理學校等ニ受驗ラシマシテ、實力ノアル者デ、特ニ採用サレテ居ル者ガ居ル狀態アリマス

○米田委員 關聯シテ——段々戰局ガ急迫シテ、相當思想戰ガ、熾烈ニナツテ來ルと思フノデスガ、今日既ニ熾烈ニナツテ來テ居ル、ソコデ全面的ニ文科系統ハ、入營延期ヲ認メナイト云フヤウナ現狀デ、萬一大學邊リデ勉強出來テ居ル者ハ、殆ト半病人用ヒルニ足リナイ所ノ體力ノ者デアルト云フヤウナ現狀ダト考ヘルノデアリマス、是ハ勿論從來ノヤウニ、非常ニ多クノ數ヲ採リ上デテ入營ヲ延期サストカ云フヤウナコトハ、國民ノ兵役義務、其ノ他ノ關係カラ、軍ニ相當ノ影響アルコトハ、認メルノデアリマスルガ、併シ一面考ヘテ見テ今大學ノ教授ガ何カ研究ヲシヨウト思フテ居ツテモ、其ノ補助者ガナイ、其ノ爲ニ平素ナラ一日ニ百里走レルノニ、三十里カ五十里シカ走レナイト云フヤウナ關係モアルト思フ、又今度ノ議會ニ出テ居リマス所ノ司法官候補、辯護士、斯ウ云フヤウナ者モ、今マデトハ異ナル方法ニ依ツテ、兎ニ角充足セナケレバナラヌ、必要ナコトハ依然トシテ必要ナノデス、ケレドモ、今マデノヤウナ試驗ガ行ヘナイト云フヤウナ、色々ナ面ヲ考ヘテ見マシテ、殊ニ此ノ國家非常時ノ場合ニ當ツテ、官吏ト云フモノガ無能デアツタリ、或ハ是ガ非常ニ惡イコトヲシタリスレバ、此ノ害毒ト云フモノハ、恐ルベキモノダト私ハ思フ、ダカラ之ニ付テモ、ドウシテモ精銳ナ者ヲ、數ハ少クテモ、相當ノ數ヲ各面ニシツカリシテ者ヲ分散シテ配置シテ置カナケレバ、年齡的ニ非常ナ「ギャップ」ガ出

來ルノデヤナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソコデ非常ナ多クノ數デナクテモ、或ル數ハ、國家要員トシテ、大學院ノヤウナ恰好デ研究ヲサセ、從來ノヤウニ、サウ云フ教育ヲ受ケタリ、研究ヲシタリスルコトガ、個人ノ特點デアルト云フヤウナ考ヘ方ノ時代ト云フモノハ、モウ過ギテ居ルト思フ、最モ適シタ者ガ、最モ適當ナ場所ニ配置サレテ、初メテ綜合的ニ能率ガ發揮出來ルト思フ、軍隊ガ強イト云フコトハ、軍隊ト國民ト云フモノハ、弓ト矢ノ關係ノヤウナモノデアラウト思フ、何ボ強イ軍隊ノ矢ガアツテモ、之ヲ押出ス所ノ國民全體ガシツカリシテ居ナカツタナラバ、其ノ矢ハ遠ク届カナイト私ハ思フ、斯ウ云フヤウナ關係カラ、クドクドシク申セバ色々アリマセウガ法文科系ト雖モ、極ク少數ハ國家要員ヲシテ、ソシテ其ノ極ク少數ノ者ニハ、必要範圍ノ年限ヲ切ツテ入營ヲ一時延期スル、斯ウ云フヤウナコトニ付テノ陸軍トシテ斯ウ云フコトヲシタラ、ドウ云フ重大ナ影響ガアルカト云フヤウナ點、若シ御氣付デアリマスレバ承リタイト思ヒマス

○那須政府委員 國家要員ト致シマシテ、法文系統ノ者ヲ研究或ハ官吏等ノ養成ノ爲ニ、若干殘シタラドウカト云フ點ニ付キマシテハ、御趣旨ノ存スル所ハ能ク諒解致シマス、併シナガラ軍ト致シマシテハ、此ノ苛烈ナル戰局ニ於キマシテハ、戰争ノ實體ニ觸レナイト云フヤウナ者ハ、戰ニ役ニ立ツ研究、又官吏、辯護士、何デアラウトヤハリ琴線ニ觸レヌ所ガアル、サウ云フモノハ宜シク歸還軍人ニヤツテ戴キタイ、斯ウ云フ意見デアルト共ニ、此ノ入營延期ノ制度ト云フモノハ、貴重ナ

ル又最モ國民ノ名譽トシ、最大ノ義務トスル兵役ノ義務ニ服スルノデアリマス、之ニ人文科學ノ者ガ進ンデ出ルト云フコトガ、此ノ國家危急ノ際、又優秀者ナル程必要ダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

ト、學生ニ對シテ、眞ニ我が國ノ後繼者トシテノ愛情ヲ持ツテ居ルカドウカト云フコトニ歸著スルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス

○高城委員 一寸關聯シテ——先程御話ガアリマシタ勤勞ト軍動員トノ關係デスガ、去年カラ學生勤勞動員ガ強化サレテ、一新面目ヲ現ハスヤウニナツタノデスガ、今後ニ於テ先程ノ御話ハ實際的ニハ餘程御注意ナサラヌト難點ガアルデハナイカ、手待時間ト申シマシテモ、一頁ノ書ヲ讀ム暇モ與ヘラレナイ位ニ、現在工場ノ勤勞ニ從事サセラレテ居リマスノデ、其ノ邊ニ付テ、兵務局長ノ御考ヘヲ承リタイ

○那須政府委員 學生ノ體力其ノ他ノ關係デサウ云フ點ニ困難ハ現況ガアルト思ヒマス、併シナガラ生産ノ順調ニ行ク場合ニ於キマシテモ、ヤハリ休ミノ日モアリマスシ、又更ニ努力ヲスレバ、遠距離ノ者ハ通ハセナイデ、近邊ニ集團シテ泊メルト云フヤウナ勤勞配置ニ依ツテ、或ル程度マデ時間ガ浮クノデハナイカ、非常ニ遠イ所カラ通ハシテ、其ノ儘デ時間ガナイ、時間ガナイト云フコトヲ居ルノガアルヤウニ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ本當ニ工場ニ於テモ、又學校當局ニ於テモ、寸暇ヲ惜シミ、サウシテ工夫シ努力シテ、一頁デモ教ヘタルト云フ烈々タル氣持ガアレバ、私ノ見ル所ニ於テハ實行可能デアル、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、又今日ノ狀況ニ於キマシテ、資材ガ非常ニ圓滑ニ行ツテ居ルト云フヤウナ場合ガ、終始續クモノデハナイノデアリマス、結局ハ熱意、又工場側ノ學徒ニ對スル教育ノ重要性ヲ感ズルコト

ト、學生ニ對シテ、眞ニ我が國ノ後繼者トシテノ愛情ヲ持ツテ居ルカドウカト云フコトニ歸著スルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス

○高城委員 先程カラ實ハ文部省ノ方方ト、此ノ問題ヲ檢討シテ居ツタノデアリマスガ、軍需省カラ工場ヘ動イテ來マスル一ツノ動員態勢ト云フモノニ付キマシテ、マダ今新シイノデアリマスケレドモ、新シイ中ニ綜合的ニ誤リナク運営シテ行クヤウニ、一ツ協力シテ戴カナケレバナラナイ、今モ御話ニアリマシタ通りニ、此ノ工場ニ於ケル學徒ノ勞務ニ付テノ適當ナル運営ニ付キマシテハ、陸軍省ト文部省ト所管ガ別ト云フコトニシナイデ、協力サレマシテ、實際ニ即シテ、今御話ノ其ノ場面ニ付キマシテ、合理的ナ途ガ生レマスルヤウニ、特ニサウシタ仕事ヲ立テテヤツテ戴キタイ、工場ニ於ケル管理ガ唯軍需省系統カラダケデナシ、軍自體ノ要員關係、或ハ文部省カラノ色々ナ注文ト云フヤウナモノカラ、工場ニ更ニ一ツ掘下ゲテ「メス」ヲ入レテ、ソコニ一ツ綜合的ナ運営ヲヤツテ戴カナイト、重大ナ情勢ヲ惹起スルニ至ルト云フコトヲ感ジマシタノデ、特ニ其ノ點ヲ一ツ明確ニシテ戴キタイト思ヒマス

○那須政府委員 工場ノ勤勞管理ニ付キマシテハ、軍ノ直接管理監督デナイ限リハ直接官制のニハヤツテハ居リマセス、併シナガラ學徒ガ要員デアアル、學校教練、訓練ト云フコトニモ直接關係シテ居ル關係上、軍ニ於キマシテハ學校配屬將校ヲ強度ニ指導シ、又監理官ヲ指導致シマシテ、御説ノヤウニ相當強力ニヤツテ居リマス、唯工場側ニ對スル指導ト致シマシテハ、軍ノ

監理官ノ居ル所ハ努メテ監理官ヲ通ジテヤツテ居ルノデアリマス、其ノ他軍ノ兵務部等ニ於キマシテモ、學生ガ直接勤勞ニ挺身スルト共ニ、軍要員タルノ見地、體力等ノ見地カラ、例ヘバ東部軍ナラ東部軍、東京師團ト云フヤウナ所デ、關係工場及ビ配屬將校、學校ノ先生マデ、少シ出過ギル位ニ集マツテ戴イテ、指導シタリ何カシテヤツテ居ル積リデアリマスガ、最近ノ學徒ノ狀況ニ鑑ミマシテ、更ニ此ノ指導ヲ強化スルヤウニ指導シテ居ル次第デアリマス

○高城委員 大變譯イヤウデアリマスガ、重大ナコトデアリマスカラ——工場ニ生徒ヲ引率シテ行キマシタ先生方ハ非常ニ工場ニ適應シテ居ラレマス、特ニ體操教練系統ノ先生ガ偶、其處ニオイデニナリマセヌ場合ニ於キマシテハ、號令モヨウ掛ケラレナイト云フヤウナ教科ノ先生方ガ居ラレルノデアリマス、サウ云フコトカラ、文部省ガ企圖シテ居ルコトガ非常ニ壞レテ居リマス、其ノ點ニ付キマシテ一ツ兵務部ノ方デ、特ニ何トカ研究ヲ進メテ戴イテ、援助ヲ願ヒタイ、ソレカラ尙ホ關聯シマシテ、陸海軍ノ生徒ヲ御採リニナル方法デアリマスガ、昨年マデハマダ學力ノ「ストック」ガアツタノデアリマスケレドモ、昨年ノ勤勞令カラ學徒ノ持ツ所ノ知識技能ハ漸次低下ノ傾向ニアル、サウ云フ場合ニ於テ、陸海軍諸學校ニ於ケル入學試驗ノ内容等ニ付キマシテモ、今年文部省ガ行ヒマシタ高等學校等ニ關スル試驗ト睨ミ合セ、色々ナ方面カラ餘程格段ナ變化ヲ生ズルカト思ヒマス、又生ジナカツタニシテモ、知識技能ノ修得ノ面ニ付テ、軍ハ軍トシテノ立場カラ色々要求

徒ニ對スル教育ノ重要性ヲ感ズルコト

○高城委員 一寸關聯シテ——先程御話ガアリマシタ勤勞ト軍動員トノ關係デスガ、去年カラ學生勤勞動員ガ強化サレテ、一新面目ヲ現ハスヤウニナツタノデスガ、今後ニ於テ先程ノ御話ハ實際的ニハ餘程御注意ナサラヌト難點ガアルデハナイカ、手待時間ト申シマシテモ、一頁ノ書ヲ讀ム暇モ與ヘラレナイ位ニ、現在工場ノ勤勞ニ從事サセラレテ居リマスノデ、其ノ邊ニ付テ、兵務局長ノ御考ヘヲ承リタイ

○那須政府委員 學生ノ體力其ノ他ノ關係デサウ云フ點ニ困難ハ現況ガアルト思ヒマス、併シナガラ生産ノ順調ニ行ク場合ニ於キマシテモ、ヤハリ休ミノ日モアリマスシ、又更ニ努力ヲスレバ、遠距離ノ者ハ通ハセナイデ、近邊ニ集團シテ泊メルト云フヤウナ勤勞配置ニ依ツテ、或ル程度マデ時間ガ浮クノデハナイカ、非常ニ遠イ所カラ通ハシテ、其ノ儘デ時間ガナイ、時間ガナイト云フコトヲ居ルノガアルヤウニ思フノデアリマス、サウ云フヤウナ本當ニ工場ニ於テモ、又學校當局ニ於テモ、寸暇ヲ惜シミ、サウシテ工夫シ努力シテ、一頁デモ教ヘタルト云フ烈々タル氣持ガアレバ、私ノ見ル所ニ於テハ實行可能デアル、斯ウ云フ風ニ思ヒマス、又今日ノ狀況ニ於キマシテ、資材ガ非常ニ圓滑ニ行ツテ居ルト云フヤウナ場合ガ、終始續クモノデハナイノデアリマス、結局ハ熱意、又工場側ノ學徒ニ對スル教育ノ重要性ヲ感ズルコト

ト、學生ニ對シテ、眞ニ我が國ノ後繼者トシテノ愛情ヲ持ツテ居ルカドウカト云フコトニ歸著スルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス

○高城委員 先程カラ實ハ文部省ノ方方ト、此ノ問題ヲ檢討シテ居ツタノデアリマスガ、軍需省カラ工場ヘ動イテ來マスル一ツノ動員態勢ト云フモノニ付キマシテ、マダ今新シイノデアリマスケレドモ、新シイ中ニ綜合的ニ誤リナク運営シテ行クヤウニ、一ツ協力シテ戴カナケレバナラナイ、今モ御話ニアリマシタ通りニ、此ノ工場ニ於ケル學徒ノ勞務ニ付テノ適當ナル運営ニ付キマシテハ、陸軍省ト文部省ト所管ガ別ト云フコトニシナイデ、協力サレマシテ、實際ニ即シテ、今御話ノ其ノ場面ニ付キマシテ、合理的ナ途ガ生レマスルヤウニ、特ニサウシタ仕事ヲ立テテヤツテ戴キタイ、工場ニ於ケル管理ガ唯軍需省系統カラダケデナシ、軍自體ノ要員關係、或ハ文部省カラノ色々ナ注文ト云フヤウナモノカラ、工場ニ更ニ一ツ掘下ゲテ「メス」ヲ入レテ、ソコニ一ツ綜合的ナ運営ヲヤツテ戴カナイト、重大ナ情勢ヲ惹起スルニ至ルト云フコトヲ感ジマシタノデ、特ニ其ノ點ヲ一ツ明確ニシテ戴キタイト思ヒマス

第六類第四號 船員保險法中改正法律案委員會議錄 第八回 昭和二十年二月二日

七五

セラレル限度ノ學力ガアルダラウト思ヒマス、サウ云フ點ニ付キマシテ綜合的ニ御盡力願フテ、一層工場ノ適切ナル運営、自給態勢ニ關スル所ノ青少年ノ生活ヲ確立スル上カラ一ツ御配慮ヲ願ヒタイ、第三此ノ間新聞ニモ出テ居リマシタガ、工場ニ來マシタ學徒ハ「エシジョイ」スル時間ガナイ、一寸遊びデモスルヤウナ時間ガナイ、ソノナコトヲヤルト工場カラ嫉マレルヤウナコトガアツテ、書物モ讀メナイト云フヤウナコトガソコニアルノデスガ、サウ云フ點ニ付テ餘リ垢拔ケノシナイ行キ方ハ少シドウカト思フ、學徒ハソレハノ仕事ニ付キマシテ、一ツノコトヲヤツテ責任ヲ果シマシタナラバ、暇ヲ見出シタイト云フ知の感覺ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ點モ、御承知ノコトト思ヒマスガ、併セテ御協力戴イテ、適切ナル處置ヲ執ツテ戴キタイト思ヒマス。

○那須政府委員 軍ト致シマシテモ、只今申サレマシタヤウニ、指導教授アタリデハ指導力ガ弱イ所ガアルコトハ承知ラシテ居ルノデアリマス、御説ノヤウニ出シヤ張ル位ニオ世話スルヤウニ、寧ろ生産者側ニ要求スルノハ、軍ガ言ウタ方宜イト云フヤウナ氣持デヤラシテ居ルノデアリマス、モウ一ツ、學生ニ少シハ本ヲ讀シタリ、遊シタリスルコトノ出來ルヤウナ時間ヲ認メテ貰ヒタイト云フ點ニ付テモ、サウ云フ方面ノ氣持ニ對シテハ能ク指導シテ居リマス、軍モ所謂學徒ガ工員化シテハイカスト云フコトニ付テハ、當初カラ強イ指導ヲ致シテ居リマスガ、併シ最近ハ學徒ノ中ニハ相當惡質ナル遊ビヲ覺エル者ガアリマス、例ヘバ犯罪ニナリマス處ノアルヤウナ遊ビトカ、

成ハ女關係等ニ於キマシテ相當ナ問題ヲ頻出シタリ何カシテ居リマシテ、最近稍、ダレ氣味デアリマス、良イ者ハ良イノデアリマスガ、中ニハ少シ弛ソダ者ガアリマスカラ、此ノ際引緊メル必要ガアルト思ツテ居リマス、サウ云フヤウナ者ニ付キマシテハ、軍ト致シマシテモ教練ノ檢定其ノ他ニ付キマシテ嚴重ナ處置ヲシ、軍トシテ採用後ノ場合ニ於キマシテモ考慮ヲ拂フ考ヘデアリマス、陸海軍ノ入學試験ノ點ニ付キマシテハ、陸軍ニ於キマシテハ昨年度カラ陸軍士官學校ノ入學試験ニモ學問ヲ廢シマシテ、體格檢査ト人物、素養檢査ニ依ツテヤツテ居リマス、甲種幹部候補生、特別幹部候補生ニ於キマシテモ、殆ド在學中ノ成績ヲ主ニ致シ、之ニ勤勞ノ成績ヲ加味致シヤツテ居ル次第デアリマス、今後トモ此ノ方針デ參リマスカラ、學徒ハ勤勞ニ勵ンデサヘ居レバ、別ニ心配ハ要ラヌト云フ狀況ニゴザイマス。

○高城委員 陸軍ニ付テハソレデ宜シウゴザイマスガ、次ニ又文部省關係ニ付テ、前ニ御話ガ少シ途切レマシタカラ伺ツテ置キマス、先程ノ總務局長ノ御話ハ非常ニ結構ナ内容ヲ御紹介戴キマシタガ、サウ云フヤウニシテ學徒ガ生産ノ責任ヲ擔制ヲ執ルト云フコト、ソレカラ今一ツハ、小サカナカラ生産ノ會議ヲ學徒デモ開ケル位ニシタイ、サウ云フ氣持デ自主的ニ工場内ニ、教育的ナ雰圍氣ヲ起シテ行クト云フ風ニ仕向ケテ戴キタイ、サウ云フ意味デ實ハ申上ゲタノデアリマスカラ、丁度御話ガ一致致シタ譯デアリマス、サウ云フヤウナコトカラ教師ガ學徒ヲ率キル場合ノ行キ方ヤ、或ハ其ノ工場ノ責任者ノ中ニ混ツテ行動シナケレバナラナ

イ教育者ニ付テモ、的確ナル位置ヲ與ヘテ戴キヤウニ一ツ御願ヒヨシタイ、現在コノ所ガ非常ニ危險ニ立至ツテ居ルノデアリマシテ、學徒ガ工員化スルト云フコトモ、教師ノ側ニ方針ガ付カナクナツテシマツタト云フ所ニ原因ガ多分ニアルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、學徒ガ生産會議ガ出來ル位ノ所マデ持ツテ行クトニ依ツテ救ハレル、實ハ今モ兵務局長ニモツツシツカリ其ノ點ヲ御尋ネスルト宜カツタノデアリマスガ、工場内ニサウシタ面ガ相當ニ強力ニ動イテ行キマセヌト、工員化ノ問題ガ起キテ來ルト思フノデアリマス、問題ガ教師ノ點ニ觸レテ來マシタガ、御見解ヲ承リタイト思ヒマス。

○永井政府委員 學徒ガ工場ニ定著ヲ致シマシテ段々時ガ經ツテ參リマスルト、工場ノ生産過程ノ色々ナ點ニ付テ隨分研究ヲ致シマシテ、中ニハ非常ニ立派ナ發明ヲ致シタ者モアル、一寸シタ工夫デ生産能率ガ數倍乃至數十倍ニ上ルヤウナ效果ヲ發揮スル發明ヲ致シタ者モアルヤウデゴザイマス、御話ノ如クニ學徒ハ非常ニ純眞デゴザイマスノデ、自分ノ働イテ居ル工場ノ生産ヲ、ドウシタラ良クスルコトガ出來ルカト云フコトニ付テハ、多大ノ關心ヲ持ツテ居ルヤウデアリマス、要ハ學校トソレカラ工場トノ定著ノ關係ト云フモノガ、適正ニ長期ニ互ルコト云フ風ニ配置出來ルヤウニナリマス、御話ノ如キ事態ト云フモノガ自ラ起ツテ來テ、非常ニ生産上モ效果ヲ承ゲルコトダト思ツテ居リマス。

ク、サウシテ教育本部ヲソコニ置イテヤツテ行クト云フヤウナ方法ハドウデゴザイマセウカ。

○永井政府委員 一ツノ學校ガ一ツノ工場ノミニ學徒勤勞ニ參ルト云フ事態ニナリマス、御話ノヤウナ事柄モ可能ニナツテ來ルカト思ヒマス、尙又學校ヲ工場化致シマス場合等ニ於キマシテハ、一層御話ノヤウナ事態ガ發生シテ來ルト思ヒマス、總ジテ教師ガ他人事デナシニ生産ト云フモノハ自分ノモノダ、自分ノ仕事ダト云フ氣持ニナルコトガ最も大切ナコトデアリマス、御話ノ如ク何トカシテ工場ト學校ノ結び付キヲ緊密ニ、長期ニ互ツテ致シタイト云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○高城委員 現在ノ實情デハ今ノ御話トハ大分距離ガアルト思ヒマス、教師ガ學校ニ踏ミ込メテ自分ノ投ゲ出シテ掛ツテ行クト云フコトガ生レナイ限り、學徒ノ勤勞問題ハ何時マデモ問題ガ殘ルト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ相當工夫ヲシテ戴カレバナラヌト思ヒマス、尙ホ此ノコトニ付テ軍需省ノ方ガ偶、御見エノヤウデアリマスルカラ、豫メ御存ジノコトト思ヒマス、幾多ノ問題ヲ通シテ學徒ノ工員化ト云フヤウナコトカラ、漸時自墮落ナル風兆等モ現ハレテ來ル、知識其ノ他ガ低下シテ來ルト云フコトモ考ヘラレテ居リマス、又何トナシニ當初ニ比ベマスカラ、今日意氣ニ於テ少シ衰退シタカニ見ヘルヤウナ感モナイデハナイト思ヒマスガ、斯ウ云フ點カラ學徒勤勞ノ再出發ト云フ一ツノ問題ヲ絶エズ注意シナケレバナラナイ、其ノ面カラ軍需省ノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス。

○山口政府委員 御話ノ通り最近ノ工場内ノ勤勞者ノ狀況ヲ見マス、學徒ノ占ムル役割ガ非常ニ重要デアリマスノデ、學徒ト云フ立場デナク、目下急速ヲ要スル軍需品ノ生産増強ト云フ立場カラ見マシテモ、寧ろ學徒ヲ十分ニ、其ノ學徒トシテノ性格ヲ伸シナガラ、職場デ職域御奉公ノ出來ルヤウニスルコトガ、生産ノ面カラ見テ必要デアルト考ヘラレルノデアリマスガ、唯御承知ノヤウニ工場ニモ色々アリマスケレドモ、急速ニ膨脹シタト云フヤウナモノガ多イノデアリマシテ、其ノ間學徒ニ對スル受入態勢ニ於テ幾多ノ十分ナ點ガアルコトハ、我々モ遺憾ナガラ認メザルヲ得ナイノデアリマス、色々ナ點ガアリマスガ、特ニ先刻來ノ御話ノ學徒トシテノ教育ノ點デアリマス、又工場ニ於ケル勤勞者トシテ勤キナガラ學徒トシテノ教育、一層深メテ行クト云フ意味ニ於ケル勤勞教育ト言ヒマス、サウ云フ風ナ學徒トシテ一番大事ナ點、之ニ付テ尙ホ十分ノ手打タナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレニハ例ヘバ其ノ一ツトシテハ、成ベク隊組織ニ依リマシテ當時工場ノ中デ働ク、又第二ニハ幸ヒ學校デ習得シタル技能、知識ト云フモノガアリマスレバ、唯無暗ニ配置スルノデアリマス、適正ナル者ヲ適所ニ配置スルト云フヤウナコトニ付テ、モツト眞劍ニナツテ考ヘナケレバナラヌ、又更ニ受入レマシタ後モ、サウ云フ方面ニ何ト云ツテモ受入側ニ於テノ理解ガナケレバナラヌト同時ニ、學徒ヲ親身ニナツテ世話スル、從來ノ學校ノ一學校ト云フト少シ狹過ギマスガ、教育ト云フコトヲ本職トサレル人達ガ、親ノヤウニナツテ工場ニ於テ世話スル、斯ウ云フ點モ考ヘナケレバナラヌト思ヒマ

ス、所ガ只今御話ノ其ノ世話ヲスル教

職員ガ、實際上ハ可ナリ頻繁ニ迭ルト

云フヤウナコトモアルノデアリマス、

是ハ決シテ望マシコトデハナイノデ

アリマスガ、之ニハ又原因ガアル譯デ

アリマシテ、色々ナ事情デ已ムヲ得

ズ送ラレルト云フコトモアルノデア

マス、ソレ等ニ付テモ成ベク頻繁ニ迭

ラナイヤウニ、世話ヲスルコトガ出来

ルヤウナ施策ヲシナケレバナラヌト

フノデアリマス、ソレ等色々アリマス

ガ、サウ云ツタヤウナコトヲ總括シテ

不十分ナ點ガアリマスノデ、軍需關係

ノ工場、事業場ニ於テ、サウ云フ點ノ

不備ナ點ヲ補フ意味デ、斯ウ云フコト

ヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、軍需監

理部ニ懸應ノ教學課長、又サウ云フ方

ニ準ズルモノヲ兼務ニナツテ戴キマシ

テ、サウシテ管下工場、事業場ニ於ケ

ル學徒ノ勤務問題ニ付テノ專門的ナ見

地カラノ考察實施ヲシテ行クト云フヤ

來メセヌデセウカ

○山口政府委員 自由ニト云フコトガ

ドウ云フ意味デアリマスカ、ヤハリ只

今申上デマシタヤウナ軍需監理部ニ教

學課長等ヲ兼務ニシテ、其ノ地域ニ於ケ

ル工場事業場ノ色々ノ情勢ヲ見テ、今

ノ學徒ノ取扱ニ付テ手落チナイヤウ

ニスル、斯ウ云フ所デ元端ヲ致シマシ

テ、サウ云フ所ト連絡ヲ執ツテ個々ノ

具體的ノコトニ付キマシテ又必要ナコ

トヲヤル、斯ウ云フヤウナ意味ニ於キマ

シテ、詰リ軍需監理部ト云ヒマスガ、サ

ウ云フ係ノ者ト連絡ヲ執ツテヤツテ行

ク、斯ウ云フ意味ニ於テ結構デアルト

思ヒマス

○村松委員 米田吉盛君

○米田委員 御承知ノ智能ノ總動員デ

ゴザイマスガ、學徒ノ動員ハ一箇年ノ

臨時措置ガ今同長期化サレテシマツタ

ノデアリマス、私ハ此ノ機會ヲ逸シタ

ラ戦局ノ根柢デアリ智能ノ維持増進ノ

レナケレバナラズ、考ヘラレナケレバ

ナラヌト思フ、其ノ他ノ生産面ヲ擔當

シテ居ル者ハ、生産面ノ立場カラ色々

ノ動員ヲ要求スルデアリマセウシ、軍

ハ軍トシテノ立場カラ先程ノヤウナ色

色ノ見解ガアルデアリマセウ、併シナ

ガラ荷クモ文部省トシテ文教ヲ御與リ

ニナル限リニ於キマシテハ、其ノ立場

カラ十分ナル御主張ガナケレバ結局視

野ノ狭イ國策ガ決定セラレルト思フ

〔委員長退席、仲井間委員長代理

著席〕

珠ニ現在ノ既成科學陣營ノ人ト云フ

モノハ、今日程科學ヲ重ク用ヒナカツ

タ時代ニ養成サレタ人デアリマス、カ

ラ、率直ニ言ヘバ陣營トシテ貧弱デ

ス、我が國第一流ノ人材ガ雲ノ如ク集

ツテ選拔セラレ然レ後ニ形成サレタ陣

營デアルト云フ譯デハナイ、比較的科

學ト云フモノヲ疎ンゼラレタ時代ニ志

サレタ人デアリマス、其ノ數モ少

ハラズ、ソレヲ鑑ミラレタノデアリマ

スカ、文部省デハ理工科系統ノ者ヲ増

募セラレ、更ニ先程總務局長ノ御話

ニ依ツテ理工科生中ノ一割程度ハ科學

研究ニ從事サセテ居ルト云フヤウナ御

話デアリマス、現在理工科系統ノ授業

ト云フモノハ一年間授業ヲスル、坐學

ヲ一年大體ヤラス、斯ウ云フヤウナ話

デアリマス、今年ノ如キハ御

承知ノヤウニモウ十二月ノ末ニ出テ行

クコトニナル、四月カラ十二月マデト

シテ九箇月デアリマス、其ノ九箇月ノ

中ニモ五、六十日ハ農村其ノ他ニ臨時

動員ヲシテ居ル、サウスルト文部省デ

ハ一年授業ヲスルト云フ積リデオイデ

ニナツテモ、正味今年ナドハ七箇月位

シカヤツテ居マセヌ、是ハ帝大モ此ノ

通りデアルカ、專門學校ダケガ斯ウデ

アルカト云フコトハ私承知シテ居リマ

セヌガ、我々ノ知ル專門學校トシテハ斯

ウ云フ程度ノモノデアル、ソレカラ今

キニナツタと思フノデアリマスガ、飛

ベナイ飛行機ガ出来ル、浮カバナイ船

ガ出来ル、色々ナ隘路ヲ總ヘラレタケ

レドモ、ソレハ結局一ニ科學技術ガ十

分デナイト云フコトニ歸著スル、飛ベ

ナイ飛行機ヲ直スト云フモノ、第一線

ノ整備兵ガヤル修理モ是ハ皆技術デア

リマス、新兵器ノ發明ト云フヤウナモ

ノデモ皆科學デアリマス、是ハ諄ク申

ス必要ハアリマセヌ、斯ウ云フヤウナ

コトヲ考ヘラレテ、優レタ一人ノ科學

者ト云フモノハ凡ハ八ノ千人萬人ニ匹敵

スルノダト云フコトヲ考ヘタカラコ

リ、私ハ入營ノ延期マデシテ實力アル

フ、所ガ現在ノヤウニ名ハ一年學問ヲ

サスノダト云フケレドモ、七箇月ヤハ

箇月位ノ授業ヲサシテ居ツテ、果シテ

是デ國家ガ目的トシテ期待スル所ノ科學

者、技術者ト云フヤウナモノガ生レテ

來ルカ、文部省ハドウ云フ御考ヘヲ持

ツテ居ラレカ、斯ウ云フヤウナコト

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

第七

學、專門學校ノ理工科ノ授業ト云フヤ
ウナモノ、或ハ中學校ノ授業ト云フヤ
ウナモノ、更ニ之ヲ疎開シタ兒童ノ殘
留組ノ授業、斯ウ云フヤウナモノニ考
ヘテ見マシタナラバ、今日他ノ壓力ニ
抑サレテ萎縮シテ居ルノデヤナイカト
私ニハ感ゼラレルノデアリマス、此ノ
際ハ文部省トシテハ、必要ナ觀點カ
ラ、目先ノ時流ニ流サレコトナク、
萎縮スルコトナク、學問ト勤勞ノ兩立
スル所ノ對策ヲ立テラレテ果敢ニ實施
セラレコトガ必要デヤナイカト思ヒ
マス、ソレガ結局勤勞學徒ニ應ヘル文
部省ノ途デアルト思フ、サウ致シマス
爲ニハ或ル數ハドウシテモ完全ナ教育
ヲサスト云フヤウナ要員ヲハツキリ決
メナケレバイカスト思フ、今マデノヤ
ウニ、惡平等トモ言ヒマスカ、皆ガ
半年カ一年ノ授業シカ受ケナイヤウデ
ハ駄目デス、サウ云フコトデナクシ
テ、或ル數ノ要員ハガツチリト必要量
ヲ早ク決メル、サウシテ高ク深キ教育
ヲ必要トスル者ニハ徹底シテ米英學
ニ資スル所ノ教育ヲ授ケル、此ノ點ニ
付テハ私先程兵務局長ニ御話シタヤ
ウニ、法文科系ト雖モ此ノ際遠慮スル必
要ハナイト思フ、先程ハ歸還兵ヲ以テ
充テロト仰シヤッタ、ソレハ其ノ通り
デ、出來ルダケ歸還兵ヲ充テ、ソレデ
充足出來レバ結構デス、併シナガラ人
間トシテ體ダケアレバ宜イノデヤナイ
ノデ、頭ガ肝腎デアアル、シツカリシタ
人ガ其ノ歸還兵ノ中デ足ラナイ場合ニ
ハ一般ノ者ノ中カラモ探ツテ、サウシ
テ司デアアル所ノ統後ト云フモノヲ強力
ニシテ行クト云フコトデナケレバナラ
ヌト私ハ思フ、此ノ事ニ熱ヲ持チ、此
ノ事ニ眞剣ニ文部省ガ御活躍ナサルノ
デアレバ、必ズ國家全體ノ施策トナツ

テ認メラレルモノト私ハ思フ、教育ヲ
受ケルコトガ個人ノ特典ダト云フヤウ
ナコトハ是ハ平和時代ニ考ヘルベキコ
トデアリマシテ、今日ハ全ク、先程申
シタヤウニ誰ガ一番適當カ、適當ナル
者ガ適當ナル場所ニ動員セラレルト云
フコトデナケレバ、彼奴ハウマイコト
ヲシテ居ルト云フヤウナ小乗の考ヘ
方ヲシテ居ツタナレバ、國家ノ本當ノ
效率ト云フモノハ上ツテ來ナイ、感情
論ニ終始スル、成程全部突撃スレバ皆
突撃スルカラ誰モ不公平ガナイヤウデ
アリマスケレドモ、ソレハ國家全體カ
ラ考ヘテ見タナラバ取ル所デアリマ
ス、適當ナル人ガ適當ナル場所ニ就
イテ號令ヲ掛ケル、此ノ號令ニ從フ者
ト云フヤウナ關係ガ茲ニ成立タナケレ
バイカヌノデアリマス、結論ハ國民ノ
總力ヲ絞ツテ此ノ戰爭ニ勝ツト云フコ
トガ目的デアツテ、區々タル小乗論、
感情論ト云フモノニ左右サレテ居ツタ
ナラバ大ナル誤リヲ來スト私ハ信ズル
ノデアリマス、サウ云フヤウナ觀點カ
ラ、理工科系統モ、又法文科系統モ、
其ノ數ハ別トシテ、完全ナ授業ヲナサ
ル、十分ナ教育ヲサスト云フヤウナ對
策ハ文部省デ御考ヘアリマセヌデセウ
カ、伺ヒタイ

○永井政府委員 科學技術者ノ後繼者
ノ養成ニ付テノ御質問デゴザイマス
ガ、現在文部省トシテハ色々考ヘテ居
リマスコトハ既ニ御存ジノ通りデゴザ
イマスガ、一應申上ゲテ見マス、一
ツハ大學院ノ特別研究生デ、大學卒業
程度ノ實力アル者ガ更ニ五年間特殊ノ
研究ヲスルノデアリマシテ、此ノ五年
ノ間ハ大體入營ハ延期サレテ居ルヤウ
ナ狀況デアリマス、ソレカラ更ニ先程

モ申シマシタヤウニ、大學等ニ於ケル
研究ニ、特に研究ノ補助策トシテ勤勞
カラ除外ヲサレテ學問專念ニ致シテ
居ル者モ略、一割ハ考ヘテ居ル次第デ
アリマス、尙又大學專門學校ヲ通ジ
テ、理工科系統ニ於テハ、一年生ハ動
員ヲ致サナイデ學問ヲサセル、二年生
ハ通年動員ヲサセルノガ原則デアアル、
三年生ニ於テハ三箇月ノ仕上教育ヲヤ
ル、現在短縮サレテ二年半デアリマス
カラ、月數デ言フト三十箇月デアリマ
ス、三十箇月ノ中一年ノ十二箇月ト三
年ノ三箇月ト十五箇月デアリマス、三
十箇月ノ中ノ十五箇月ハ原則トシテ學
業ヲヤラセル建前デアリマス、先程御
話ノ通り、理工科系統ノ專門學校ノ一
年生ヲ航空機緊急増産等ノ要請ノ爲ニ
一月カラ三箇月間一年生デアリナガラ
動員ヲ致シマシタ、併シナガラ此ノ一
月カラ三月マデ動員ヲ致シマシタモノ
ハ、二年生ニナリマシタ四月カラ六月
マデ三箇月ハ學校ヘ戻シテ學業ヲヤラ
セルコトデアリマス、サウデナイ場合
ニ於キマシテハ、二年生ハ通年動員ノ
建前デアリマス、一年デ三箇月動
員ヲ致シマシタモノハ二年デ三箇月歸シ
テ勉強サセルコトニナリマス、先
程申シマシタ三十箇月ノ中デ十五箇月
ハ勉強スルコト云フコトニハ變リハナイ
ノデアリマス、以上ガ大體今マデ執ツ
テ居ル狀況デゴザイマスガ、併シテ
眞ノ意味ニ於テ本當ニ科學技術者ヲ養
成スル途ガ中等學校、專門學校、大學
ヲ通ジテ十分デアアルカ、是デ宜シイカ
ト云フコトニナリマス、是ハ十分デ
アルトハ無論申セマセヌ、現在ノ學徒勤
勞トソレカラ學業トノ調節ヲ如何ニス
ベキヤト云フコトハ、是非非常ニ大切ナ
問題デアリ、慎重ヲ期セナケレバナラ

ナイ問題デアリマス、全ク是ハ戰局ノ
推移ニ即應致シテ行カナケレバナラナ
イ所デアリマスガ、文部當局トシマシ
テハ、生産上ノ要求乃至國家全體ノ動
キト云フコトヲ考ヘマシテ、今マデヨ
リモ更ニ其ノ國家全體ノ要求ニ即應致
シツ、能フ限リ此ノ學業ヲ授ケルト云
フ方向ニ向ツテ目下色々研究ヲ致シ
マシテ、關係方面トモ折衝ヲ重ネントシ
ツ、アリ、又重ネツ、アル次第デアリ
マス、全體トシテ御説ニ付テハ全ク御
同感ニ存ズル次第デアリマス

○米田委員 現在ノ中等學校ノ、殊ニ
中學校ノ授業ナンカガ、三年、四年ガ
動員セラレルノデアリマシテ、此ノ三
年、四年ガ動員サレテ、結局一年、二
年ノ智育シカ受ケテナイ中學卒業生ヲ
專門學校ナリ高等學校ハ受容レル、サ
ウシテ又一年ノ程度ノ授業シカ出來ナ
イ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ見マス、
ソコニ智育ヲスル時間ガ非常ニ足ラナ
イ、精神教育ハ現場デ出來マスガ、智
育ト云フモノハ本當ニジツクリ坐學デ
ヤラナケレバ力ナンカ付クモノデハア
リマセヌ、ソコデサウ云フヤウナ關
係ヲ睨ミ合セテ、今日ノ如ク一年程
度——一年ト云ツテモ、名ハ一年ダガ、
今ノヤウニ二箇月前後モ臨時動員ト云
フモノガ大抵ノ學校ニアルノデアリマ
スカラ、相當ニ短縮セラレタ授業ニナ
ツテ居ル、ソコデ私ハ斯ウ云フコトヲ
考ヘテ居ルノデアリマス、大學ト高等
學校ト云フモノハ學問ニ重點ヲ置イテ
十分ニヤラス、勤勞ヲ若シ課スルヤウ
ナコトガアツテモ、是ハ訓練程度ヲ出ナ
イ、斯ウ云フコトヲ一ツ基本ニ立テテ
見タラドウカ、大學ト高等學校ト云フ
モノハ純然タル學問デ國家ニ奉公サ
ス、サウスル爲ニハ高等學校ナドニ入

學シタラ直グニ二三箇月兵營ニ入レテ
訓練ヲスル、サウシテ今マデ親ノ膝下
ニアツテ生溫イ考ヘ方デ居ツタ者ヲ、
此處デ實踐の「インテリ」型ニ現ニ角
基礎付ケテ、基礎訓練ヲスル、尙ホ高
等學校、大學ノ生徒ノ數ト云フモノハ
ウント少クスル、サウシテ此處ニ入レ
ル所ノ生徒ハ、國家ヲ眞ニ背負ツテ立
ツ所ノ氣力ト體力トニ富ム者ヲ、白樂
ガ居ツテ之ヲ見出す、千里ノ馬ヲ見出
ス、ソレニハ變ナ中途半端ナコトハヤラ
ヌデ本當ニ勉強ヲサス、勉強シテシツ
カリシタ人間ニスル爲ニハ、兵營ノ訓
練ヲ學校ニ入ツタラ、直グ二三箇月ヤ
ル、ソコデ基礎ヲ付ケテシマツテカ
ラ、兎ニ角實踐の「インテリ」ニス
ル、斯ウ云フヤウニ、私ハ高等學校ト
大學ト云フモノハ、本筋ノ教育ノ機關
ニシタラドウカト思フ、併シサウスル
爲ニハ今ノヤウニ澤山ノ大學生高等學
校ノ生徒ト云フモノハ迎ヘ國家ノ立場
カラ認メラレナイ、ソコデ大學トカ高
等學校ト云フモノハ相當數ニ減ラス、
大學ヲ東京ト京都ト二ツ位ニスル、サ
ウ云フヤウナ極端ナコトヲ私ハ言フノ
デハナイ、相當數ニ整理シテ、有能ナ
教員ダケヲ網羅スル、今日大學ノ教
授ダカラト云ツテ、全部ガ全部ソレ
ニ相應シイ實力ヲ持ツテ居ルトハ保
證出來ナイ、年ヲ取り過ぎテ居ルト
カ、或ハ若い時ハ頭ガ良カッタケレド
モ、何カノ調子デ旨ク行カクナツタ
トカ、色々缺點ガアル、ソレデ大學ノ
數モ或ル程度減シテ、實ノアル數ニ
スル、高等學校モ固ヨリ大學ノ數ニ依
ツテ制約サレテ、高等學校モ整理サ
レ、殘ツタ所ノ學校ハ有能ナ教授ダケ
ヲ、情實ヲ排シテ集メル、斯ウ云フ風
ニシテ整理サレタ大學ヤ高等學校ハ、

普通ノ專門學校ニデモスルカ、適當ナ處理ガ出來ルト思フノデアリマス、サウシテ大學ノ高等學校ハ學問ノ本筋、大道トシテ依然トシテ殘スコトガ必要ダト思ヒマス、一年ダトカ半年ダトカ、ソノナケチナコトヲ言ツテ居ツテハ、此ノ大キナ科學ノ發明、發見ト云フヤウナコトハ出來ナイト思ヒマス、併シ一面國家ハ學徒ニ生産ヲ要求スルノデアリマスカラ、專門學校ト中等學校ニハ生産ヲ擔當サス、大學ノ方ハ本人ノ志望ニ依リマスケレドモ、結局動員ト云フ形式デ、高等學校大學ニハ入レル、專門學校、中等學校ハ全ク本人ノ志望ニ依ツテ、今マデ通りノヤリ方デ入レテ行ク、是デ宜イト思ヒマス、中等學校モヤハリ高等學校ニ進ムベキ教育ヲ授ケル數ヲ或ル程度確保シナケレバナラヌ、ソコデ中等學校ノ中デ高等學校ニ進ンデ差支ヘナイ程度ノ優秀者ハ、甲乙二種ニ分ケテ、甲ノ方ニ入レテ、三年、四年ノ頃カラ中學校デサウ云フ教育ヲスル、坐學ヲ十分ニヤル、智育ヲスル、乙ノ方ハ普通ノ實業學校ト同様ニシテ、專門學校ト共ニ生産勤務ヲ擔當サス、中等學校ノ甲ノ高等學校ニ進ム組ト雖モ、相當數ノ勤勞ハヤラシテ差支ヘナイト思フノデアリマスガ、乙ト甲ノ其ノ區別ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、ソレカラ今日現場ニ行ツテ見テ一番清楚スルコトハ、熟練工ノ居ナイコトナンデアリマス、人ハ澤山ウヨ／＼シテ居ル、ケレドモ是ト言ツテ力ヲ持ツテ居ル熟練工ガ非常ニ少イノデアリマス、ソコデ私ハドウシテモ急遽ニ中堅幹部ヲ養成シナケレバナラヌト思ヒマス、ソコデ工業學校ノ中ニ於テモ、或ル數ノ者ハヤハリ満足ニ授業ヲシテ行ツテ、ソコデ現場ノ

中堅幹部ニシテ行ク、全部ノ工業學校ガ今日ハ動員サレテ、坐學ト云フモノハ殆ドナクナツテ居ルガ、ソレハ止メテ工業學校デ完成教育ヲシテ、ソコデ完全ナ中堅幹部ヲ作ツテ行ク、斯ウスル爲ニ工業學校中ト雖モ、或ル數ノモノハ完全ナル教育ヲ授ケルヤウナ組織ヲ考ヘタイ、サウシテ專門學校ト、男女ノ中等學校ノ青年ガ勤務學徒ノ主體トナツテ行ク、斯ウ云フヤウナ態勢ヲ考ヘタラドウカト思ヒマス、此ノ私ノ考ヘテ居ル操作ニ依ツテヤツテ行ケバ、勤務ヲ現在程度以上ニ上昇出來ルト思フノデス、サウスル爲ニハ學徒ヲ今マデノヤウニ、工場ノ手傳ヒト云フヤウナ關係ニ置ケベキデハナイト思ヒマス、今マデ工場ヘ動員サレテ居ル學徒ハ皆事務員デアルトカ、工員ノ手傳ヒデス、手傳ヒト云フ氣持デ居リマスカラ、本人モ實際力ガ入ラナイノデス、ソレカラ事務員ヤ工員ト云フモノハ、結局自分ノ手足、補助者ガ出來タノデアリマスカラ、是等ニ十分働カシテ、入ツテ來タ此ノ學徒ノ努力ダケハ工員ガ樂ヲシテ居ル、簡單ニ言ヘバ、工員ガ學徒ノ努力ヲ食ウテ居ル現狀デス、サウデナイ所デアレバ、工員ノ厭ガルヤウナ土工作業デアルトカ、サウ云フヤウナ作業ヲ學徒ニ押付ケル傾向ガアル、結局學徒ニ頼ル／＼ト口デ言ヒ、新聞デハ言フガ、學徒ハ今日御客扱ヒ、生半可ニ使ハレテ居ルト云フノガ現狀デアリマス、然ラバ學徒ト云フモノハ一人前ノ工員トシテ責任ヲ全ウ出來ナイイカト言ツタラ、サウデヤアリマセヌ、之ニ委サナイ、一人前ノ者トシテ委サナイカラ、斯ウ云フヤウナ現狀ニナツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ私ハドウシテモ將來學徒ガ工員ト就

爭シテ、十分ニ生産ニ寄與スルト云フ態勢ヲ立テタイト思フ、一面ニハ學問ヲシツカリタル者ガアル、一面ニハ學徒ノ中デ生産ヲシツカリタル本格的ニ引受ケル者ガアル、斯ウ云フ態勢ヲシテ行ク必要ガアルト思フ、サウスル爲ニハ第一ニ學徒工場ト云フモノヲ作ラナケレバイカヌ、一體會社ハ工員ヲ使フコトハ慣レテ居リマスケレドモ、學徒ヲ使フコトニハ慣レテ居リマセヌ、一年經ツタ今日、尙ホ慣レテ居リマセヌ、又會社ノ多クノ人ト云フモノハ學徒ヲ扱フノニ適スル人デアリマセヌ、親心ガ第一足リマセヌ、知ラズ識ラズ工員ニ接スルヤウナ考ヘデ學徒ニ接スルノデアリマス、是ハ永年會社ノ人達ガ慣ラサレテ居ル考ヘ方ナノデアリマシテ急ニ切替ヘヨト言ツタ所ガ、人情ノ常トシテ中々切替ヘンクイノデアリマス、課長ダカ係長ダトカト云フヤウナ人デアリマシテモ、自己練成ト云フコトハ、學校ノ教員程出來テ居リマセヌ、偶々會社ノ爲ニ主張スルヤウナ人ガアリマシテモ、ヨリ高イ國家ノ見地カラ學徒ニ接スルト云フヤウナコトハ、割合ニ寥々タルモノデアリマス、ソコデサウ云フヤウナ所ヘ學徒ガ行ケバ、國家ノ危急ダカラト言ツテ意氣込シテ工場ヘ行ツテ見マシタケレドモ、工場ハ想像ニ反シタ狀態デアル、努力ハモウダブツツテ居ル、幹部ヤ工員ノダラシナイ現實ニ彼等ガ遭ヒマスルト、何ノ爲ニ學徒ヲ捨テテコソナ所ヘ來タノダラウカ、動員其ノモノヲ疑フト云フヤウナ狀態ニナルノデアリマス、ダカラサウ云フ社會ノ惡イ面ヲ彼等ニ見セナイデ、最初カラ純心ナ氣持ヲドン／＼育テ行クト云フ爲ニハ、學徒ヲ中心トスル學徒工場ト云フモノ

ヲ設ケマシテ、是ハ固ヨリ指導ニハ工員ガ要リマスケレドモ、上級生ガ下級生ヲ指導スルト云フヤウナ組織ニシテ、此ノ工場ハ早稲田ノ工場デアル、是ハ慶應ノ工場ト云フヤウニ、野球試合宜シク母校ノ名譽ト國家ノ安危トヲ直結シ、兩立サシテ、サウシテ秀吉ノ掘首請宜シク、學徒ノ心理ヲ擱ンデ生産ヲ高メヨウト考ヘタラドウカト思フノデアリマス、學徒工場ト云フノハ、是ハ必ズシモ學校ヲ工場ニ作ラナケレバナラヌト云フ意味デハアリマセヌ、工場ノ中デ或ル棟ハ學徒ダケヲ收容スルト云フコトデモ結構ナノデアリマス、能ク御話ニナリマスケレドモ、今日ノ實情デハマダ觀念論ノ域ヲ脱シテ居リマセヌ、若シ學校ノ工場化ヲオヤリナナルト云フ本當ノ御氣持ガオアリナラ、文部省ハ一肌デモ二肌デモ脱ガナケレバ出來マセヌ、何處カノ省ガヤツテ吳レルダラウト云フヤウナ程度デ、サウ云フ方向ニ進ムコトヲ文部省ハ贊成スルト云フ程度ノ行キ方デハ、學徒工場ト云フモノハ出來マセヌ、私ハ是ダケ努力ヲ繼メテ持ツテ居ル所ノ學校ト工場ト云フモノトガ、今日ノヤウニ他人デアルベキデハナイト思フ、今日學校ノ校長ガ行ツテモ畫報ヲ御馳走ニナルトカ、御客扱ヒヲサレテ、良イ所バカリ話ヲ聞イテ歸ル位ノコトデアリマス、學徒ガ御客ノヤウナ扱ヒヲサレテ居リ、學校自身ガサウ云フヤウナ他人ノ關係ニナツテ居ツテ、ソレデ何處デ旨イ結果ガ出ルデアリマセウ、世ノ動員ニ付テノ惡イ諸問題ハ、是ガ完全ニキツチリ行カヌカラ起ツテ來ルト思フ、モット學校ト工場ト云フモノハ一化シテ、或ル場合ニハ生産責任ノ一體

翼ヲ學校ニモ負ハスト云フヤウナ態勢ニナラナケレバ駄目ダト思フ、工場側ニシタ所ガ、學徒ハゲン／＼殖エテ來ルノデアリマスカラ、學徒ノ能率ヲ擧ゲサセヨウト思ヘバ、ドウシテモ學徒ノ心理ヲ擱ンデ之ヲ勤務サセナケレバナラヌ、工場側カラ云ツテモ工場ノ學校化デ、工場ト學校ガ一體ニナル、斯ウ云フ關係ガ必要ダト思フ、今日ハ大體學徒ヲ單ナル勞務者視シテ居ルト云フノガ、齒ニ衣ヲ著セナイデ言フナラバ、工場ノ實態ダト思フ、單ナル勞務ト見テ居ル、容易ニ得ラレテ賃金ガ割ニ安イ、ソレデカラ歡迎スル、若シサウ云フ氣持ノモノデアルトスレバ、教養アル 陛下ノ赤子ヲ預カル資格ハナイト思ヒマス、其ノ證據ニハ能ク、會社ニ學徒課トカ、學徒係ト云フモノガアリマスケレドモ、是ハ現場ニ對シテ何ノ力モ持ツテ居リマセヌ、無力デス、又其ノ側ニ當ツテ居ル人ガ、適材ガ必ズシモ當ツテ居リマセヌ、ダカラ斯ウ云フ課ガアルゾト云フコトモ、對外的ニ形式ノ爲ニアルノデハナイカ、斯ウ云フ考ヘスラ我々ハ起ル位デアリマス、其ノ人達ハ大體事勿レ主義デス、工員ト同様ニ學徒ヲ長イ時間ダラダラ働カセレバ宜イ、斯ウ云フヤウナ考ヘ方トシカ思ヘナイ、學徒ガ能ク働グノニハドウシタラ宜イカト云フヤウナ工夫、熱意ト云フヤウナモノガ、我ニハ見受ケラレナイ、サウ云フヤウナ關係ヲ考ヘテ見テモ、兎ニ角學徒ヲ預カル會社ハ、モット學徒ヲ理解シナケレバイカヌ、サウシテ手待時間ニ教育ヲサスト言ヒマスケレドモ、文部省ハ何處デ御調ベニナツテ居ルカ分リマセヌガ、我々ガ、調ベマシタ所デハ手待時間ガアツテモ、ソレヲ教育ニ利

用セント教員側が要求シテモ、中々實際ハ聽カナイ、其ノ理由トシテハ、他ノ工員ニ惡イ、或ハ他ノ會社ニ、アノ會社ハ勞務ガダブ付テ居ルト云フコトヲ見ラレル處ガアル、ダカラ勉強ナシカサセラレテハ困ルト云フヤウナコトヲ言フノデアリマス、若シヤウ云フコトヲ言フナラバ、手待時間ニハ一ツ機械デモ磨イテ呉レ、斯ウ云フコトヲ言ハレル程度デアリマシテ、實際ノ實情ト云フモノハ、文部省ガ言ハレルヤウニ、又軍需省ガ御考ヘニナツテ居ルヤウニ、會社側ガ親心ヲ以テ之ニ接シテ居ルト云フヤウナ所ハ、ナイトハ言ヘマセヌガ、全體ノ通論スルナレバ少イ、斯ウ云フ點ニ付テ學校ノ工場化トカ、或ハ學徒工場、學校ト工場トガモット一體ニナツテ、生産ノ責任ヲ有負フ形ヲ取ルトカ、斯ウ云フヤウナ構想ニ對シテ文部省トシテハ何カ具體的ニ御考ヘハナイデアリマセウカ、學校ノ工場化ト云フコトハ先程カラ承ツテ居リマスガ、是ハマダ文部省デハ觀念論位ノモノデハナイカと思フ、全國ノ學校ニ幾ツモ實現サレテ居ナイダラウ、恐ラク今日ノ狀態ヲ以テ進メバ、將來モサウ澤山實現サレナイデアラウト思フ、之ニ對シテドウ云フヤウナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ承リタイ

○永井政府委員 只今數々ノ問題ニ付テ重要ナル御所見ヲ伺ヒマシテ、洵ニ失禮ナガラ御意見ト思ヒ、我々同感スルコトガ非常ニ多イデアリマス、其ノ中學校ト工場トノ關係ニ付テノ御質問デゴザイマシタガ、是ハ先程モ幾多ノ委員カラノ御質問ニ對シテ御答ヘシマシタヤウニ、全ク御話ノ如クニ學校ト工場トノ直結ノ關係ヲ從來ヨリモ遙カニ緊密ニ設定ヲ致シテ行クト云フコトガ、色々ノ意味ニ於テ本當ニ學徒勤勞ヲ生カシテ行ク所以デアルト思ヒマス、御話ノ如クニ學校工場ト云フモノニ付テモ將來十分ニ之ヲヤツテ参リタイト思ヒマス、ケレドモ、學校其ノモノヲ工場化スルト云フヨリモ、廣ク學校ト工場トノ連繫ヲ緊密化シテ、此ノ兩者ハ常時特別ノ關係ニアル、御話ニ出マシタ如クニ早稲田ハアノ工場、慶應ハアノ工場ト云フヤウナ風ニ、特定關係ガ設定サレテ居ルト云フ所ヘ向ツテ進メ得ラレルモノナラバ進メテ参リタイト思ヒマシテ、目下折角其ノ點ニ付テ考究中デアリマス、文部省ノ方針ト致シマシテモ全ク御話ノ通りニ考ヘテ居リマス

○米田委員 其ノ高等學校、大學ノ本筋教育トデモ言ヒマセウカ、筋ヲ通シテ立派ニ徹底的ニ教育スルト云フコトハ如何デスカ

○永井政府委員 先程御話ノヤウニ中等學校カラ上ノ高等學校、大學ハ學問ノ研究ヲヤラシメルト云フ一ツノ筋ト、實社會ノ役ニ立タシメル、現在ノ問題カラ言ヘバ生産ヲ飽クマデ擧ゲシメルト云フ方面ニ向ケル、是ガ專門學校ノ筋、此ノ二ツノ筋ガ高等教育ニハアル、ソレデ學問ノ研究ヲシテ其ノ蘊奧ヲ究メルト云フ方向ニハ、學校ノ數ヲウント少クシテ、飽クマデモ其ノ研究ヲ繼續セシメル、ソレカラ片方ノ生産ニ直接役立タシメル方面カラ云フト、工場ト直結シテ工場ト學校トノ關係ヲ緊密ノ狀態デ以テ行クト云フヤウナ經營デ以テ生産ヲ擧ゲテ行ク、此ノ方ハ數ハ制限ヲシナイデアツテ行ク、大體サウ云フヤウナ仕組ト云フモノヲ高等教育ニ付テハ考ヘテ見タラドウカト云フコトニ付テハ、今モ御答ヘシマシ

タヤウニ、實ハ大變御卓見デアルト同時ニ、我々モ非常ニ共鳴スル所ガ多イデアリマス、唯之ヲ直チニサウ云フ風ニ持ツテ參ルカドウカト云フ點ニナリマス、是ハ色々ノ點デ考究ヲシナケレバナナイ問題ガゴザイマスノデ、非常ニ共鳴ハ致シマス、ケレドモ、文部省トシマシテソレヲ直チニ今ヤル方針デアルト云フ風ニハ御答ヘ致シ兼ねル次第デアリマス

○米田委員 ソレカラ學徒ノ勤勞ノ時間デアリマスガ、是モ實際ニ當ツテ見ルト、政府筋ノ考ヘテ居ラレル所トハ大分違フト思フデアリマス、私ハ學徒ノ今ノ十時間勤勞ト云フコトハ相當無理デヤナイカと思ヒマス、學徒ハダラダラ長ク勤メサスト云フヨリモ、短時間ニ效率ヲ擧ゲサスト云フコトガ、私ハ學徒ノ勤勞方法ダト思フ、

(仲井間委員長代理退席、委員長著席)

サウスル爲ニハ一定ノ生産量ノ責任制ヲ採ラセタラ宜イ、工員ガ十時間デヤル所ヲ學徒ハ八時間デヤル、又サウヤルヤウニ訓練ヲスル、ソレガ私ハ學徒ノ勤勞デアルト思フ、工員ノヤウニ要領長クダラノ時間ヲ掛ケテ勤勞ヲスルコトハ、學徒トシテハ最モ思ムベキ所ダト思フ、ソシテ餘ツタ時間ヲ教育ニ、休養ニ充テル、今日學徒ノ勤勞ガ長期化シタノデアリマス、此ノ根本策ヲ執ラナケレバナラス、休養ト云フコトハ私ハ戰爭ニモ必要ダト思フ、之ヲ罪惡視スルヤウナ考ヘ方ハイカスト思フ、ヨク言フ話デアリマス、ケレドモ、前線ヲ見ヨ、前線デハモウ草ヲ食ツテ頑張ツテ居ル、オ前等ハ身體ノコトハ愚圖々々言フナ、斯ウ云フヤウナ工合ニ感情的ニ學徒ヲ鞭ツテ早ク

彼等ヲ疲レサスト云フヤウナヤリ方ハ、名將ノ執ルベキ態度デハ斷ジテアリマセヌ、訓練セズシテ軍隊ノ紀律ハナイ、教育ナクシテ學徒ハナイノデアリマス、況シテ卒業致シマスレバ學徒ハ殆ド軍ノ幹部トナツテ特攻隊トナリ、或ハ科學兵器ヲ取扱フノデアリマス、無暗ニ長イ時間ヲ學徒ニ課スルコトハ何處デモ憤マナケレバナラヌコトデハナイカ、殊ニ長イ時間ヲ強イテ中學生ナドニ自習セヨト言ヒマシテモ、御承知ノヤウニ今日ノ中等學校ノ教科書ト云フヤウナモノハ改正サレマシテ、考察、研究ト云フヤウナコトガ中心ニナツテ居ルノデアリマス、割合ニ自習ト云フヤウナコトハ出來難イ、生産面ヲ擔當シテ居ル人ハ所謂罷ヲ追フ職師山ヲ見ズノ警デ、何デモカンデモ生産ノ立場カラ見、總テテ要求スルデアリマセウケレドモ、是ハ更ニ高イ所カラ判斷シテ、學徒ハ學徒的ニ勤勞時間ハ振ハナケレバイカスト思フ、サウ云フコトヲ言フト、直グ戰局ノ實情ヲ知ラヌノカ、生産界ノ實情ヲ知ラヌノカト云フヤウナコトヲ觀念的ニ言ハレルデアリマセウケレドモ、私ハモウ澤山ノ會社ニ實際ニ打突カツテ研究シテ見マシタ、空論デハナイ、今日私ノ行ツタ所ハモウ相當數ダブツイテ居リマス、豫算總會デモ御話ガアリマシタガ、軍需會社ニ三〇%ハ今日努力ガダブツイテ居ルト云フコトデス、是ハ直接文部省ニモ今後關係ガアルコトト思ヒマス、實例ヲ申上デタ方ガ宜イト思フノデスガ、或ル化學工業會社ニハ或ル專門學校ガ動員サレテ居ル、其處デ諸負師ガ請負ツテ居ル仕事ヲ其ノ動員サレタ學徒ガヤル、其ノ諸負師ナル者ノ世話役ミタイナ人

ノノコノヤツテ來ルノハ九時頃デアアル、ソシテ學徒ノ相當テラレタ仕事ハ才盡ニ終ツテシマス、ソコデモ勉強シタイト學校側ガ言ツテモ、ソレハ何デヤカンデヤト言ツテ會社側カラ勉強ヲ認メナイ、結局タ方マデ其ノ學徒ノ足ヲ其ノ會社ニ止メテ置カナケレバ承知セヌ、ソコヘ更ニ今度同ジ專門學校ノ下級學徒ガ動員サレタ、サナキダニダブツイテ居ル時ニ、又更ニ此ノ十二月下級學徒ガ動員サレタト云フコトヲ其ノ學校ノ校長ハ言ツテ居ル、私ハ其ノ工場ニ行ツテ見マシタ、ソレカラ又或ル會社デハ半島ノ應徴士ヲ今度入レル、半島ノ應徴士ヲ入レル前カラモウ努力ハダブツイテ居ル、ソコデ學徒ノ方カラ、コンナニダブツイテ居ルノニ更ニサウ云フモノヲ入レルト云フノハ一體ドウ云フ譯カ、斯ウ言ヘバ、會社ハ今入レテ置カナケレバ後デ取ラウト思フ時ニ取レナイノダ、君等ハ難デ兵隊ニ行ツテシマフカラ當テニナラヌノダト言フ、ソナラ我々ニ勉強スル時間ヲ與ヘテ呉レヌカ、斯ウ言ツテモ、會社ハ努力ガダブツイテ居ルト云フコトヲ官廳其ノ他ニ見セタラ要求スル勞務ヲ取レナナルモノダカラ、ソイツハ困ル、斯ウ云フヤウニシテ學徒ノ向上心ヲ抑ヘテ居ル譯デアリマス、又他ノ或ル會社デハ、一日労働時間が三四時間シカナイ、三四時間働イタラモウ其ノ日ハ宜イノダ、ソレモ係員ノ補助者トシテ働イテ居ル、係員ハドウシテ居ルカト云フト、學徒ニ働カシテ、寒イカラ殆ト毎日ノヤウニ火ニ當ツテ居ル、學徒ガ來タダケノ上ノ係員ハ樂ヲシテ居ルト云フダケノ話、又或ル會社デハ兎ニ角夜ノ六時マデ殘ツテ呉レ、四時ニ歸ラウト思ヘバ歸レル、

何モソレ程特別ニ忙シクハナイノニ六時マデ殘レト云フ、殘ツテ行クト、能ク働イテ呉レル、斯ウ云フヤウニ時間的ニモノヲ見ル、ソレカラ出勤率ヲ中心トシテ其ノ者ガ能ク働イテ居ルト云フヤウニ、モノノ見方ヲ皮相的ニ見テ居ル、ソレカラ又ハ此ノ前ノ八十五議會ノ建議委員會デモ申上ゲタルデスガ、國民學校ノ高等科ノ卒業生ヲ餘計取ル爲ニ、兎ニ角中學、大學ノ學徒ヲ餘計取ツテ置カヌト、其ノ高等科ノ卒業生ヲ餘計要求出來ナイト云フヤウナ政策ノ爲ニ、實際ニハ必要ガナイノニヤハリ要求スル、而モ其ノダブツイテ居ル工員ノ賃金ハ、結局我々ガ隣組デオ互ヒニ愛國ノ赤誠デ貯金ヲシ、色々ノコトヲシテ賄ツタ所ノアノ國費ガ、ソレニ間接的ニ拂ハレテ居ルト云フコトヲ考ヘ時ニ、斯ウ云フヤウナダブツイテ居ル工場ノ實體ヲ我々ハ默ツテ居ラヌト思フ、ダカラ工場ハ一體人間ノ頭數ガ欲シイノカ、勞力ガ欲シイノカ、斯ウ反問ヲシタイ、學徒ハ自分達ガ來ナケレバ此ノ工場ハ困ル、サウ感ズル所ニ來テ初メテ來申斐ガアツタ、國家ノ危急ニ赴イタ、斯ウ云フ實感ヲ持ツノデアリマス、ダカラオ役所ニ居ラレ——何モ文部省ダケデハナク其ノ他ノオ役所ノ方ナンカデモ、決戰下デ人手ガ足ラヌト云フコトガ口癖ノヤウニ巷ニ滿チテ居ル、モウ其ノ點ニ付テハ檢討済ミダト云フ所ニ私ハ錯誤ガアルノデハナイカト思フ、モウ一遍其ノ事情ヲ御調ベニナル必要ガアルト思フ、我々ノ廻ツタ範圍ニ於テ、又今議會ノ豫算總會ニ於テモ三〇%ハ勞務ガダブツイテ居ルト云フコトヲ言ハレル、尤モ鑛山關係ノコトハ知リマセヌ、鑛山方面ニハ私ハ參リ

マセヌ、不足シテ居ルト云フノハ熟練工ダケデス、熟練工ハ先程申サユウニ非常ニ不足シテ居リマス、何故熟練工ガ不足シテ居ルカト云フト、是モ一ツハヤリ方ガ悪いノデス、第一熟練工ガ入營スル爲ニ減ルノモアリマスケレドモ、サウデナクシテ熟練工ヲ優遇スル爲ニ伍長トカ組長トカ云フ地位ニ上シ、サウシテ伍長、組長ハ直接作業ヲシナイデ、現場ノ雜用事務見タヤウナコトヲゴチャ／＼ヤル、サウシテ全體ヲ監督スル、サウ云フ風ニスルカラ半熟練工ガ今日熟練工ト云フ「レッテル」ヲ貼ラレテ働イテ居ル、ソコニ飛ベナイ飛行機、浮バヌ船ガ出來ル原因ガアル、日本人ハ働クト云フコトガ神聖ダト云フ者ヘ方ガ足ラヌ、學者ナドデモ少シ世ノ中ニ出テ來テ一寸名ガ賣レルト直グニ何々長ト云フコト、是ハ文部省デモヤラレルガ、言ヒ付ケル、サウスルト純然タル其ノ人ノ本職ト云フモノヲ研究シ、努力スル時間ガ……

○村松委員長 米田君、成ベク問題ノ要點ニ觸レテ戴キタイト思ヒマス

○米田委員 承知シマス——其ノ時間ガ非常ニ少ナルト思フ、ソコデ熟練工ヲドウシテモ作ラナケレバナラヌ、一般ノ工員、學徒ノヤウナモノハダブツイテ居ル、熟練工ト云フモノガ足ラヌ、ソコデ先程申サユウニ、此ノダブツイテ居ル時間ダケデモ文部省ハ學徒ヲ引揚ゲテ勉強サス云フヤウナ處置ヲ御考ヘニナラナケレバナラヌ、ソレト同時ニダブツイテ居ルノダカラ、此ノ時間モ八時間制トカ、七時間制トカ云フヤウナコトヲ考ヘラレル餘地ガ十分アルト私ハ考ヘル、サウシテ一面ニ於テ毎日二時間デモ三時間デモ勉強ラサセ、交替工場ニ勤務ス

ル、斯ウ云フ時間ノ短縮ト云フコトハ出來ナイモノデセウカ、如何ナモノデセウカ

○永井政府委員 學徒ノ一日ノ分量ヲ出來高デ定メテ、時間ヲ勤務時數ヲ考ヘナイ、非常ニ能率ヲ上げレバ早く歸レルト云フヤウナ方策ヲ執ルト云フコトハドウデアラウカト云フ御話ガアル、尙又工場ニ非常ニダブツキガアルヤウニ思フノデ、是等ノダブツキガ何カ整理スルコトニ依ツテ、學業等ニ從事スル時間ヲ浮カセルノデハナイカト云フ御意見モアリ、是等ニ對シテ所見ヲ求メラレタノデアリマスガ、文部省ト致シマシテハ、先程來度々申上ゲマシタヤウニ、成ベクナラバ生産ヲ阻害スルコトノナイ限リニ於テ學業ヲ課スル時間ヲ得タイト云フコトハ非常ニ望ムデ居ルコトデアリマス、若シ工場等ノ事情ガ許セバ、其ノ日ノ出來高ニ依ツテ、アトノ生ミ出シタ時間ハ學業ニ充テルト云フコトモ好マシイコトダト思ツテ居リマスガ、是ハヤハリ工場ノ色々ノ工程等ノコト、或ハ工場ノ性質ニ依ツテ、ソレガ出來ル場合モ出來ナイ場合モアリマセウ、又ダブツキト云フノモ、我々モ實際觀察シマシテ、サウ云フ面ニモ出ツ會シマシタ、非常ニ不足シテ居ル面ニモ出ツ會シマシタ、又ダブツキガアルト認メラレタ原因ノ中ニモ、資材ノ出廻リガ月初メニ少クテ月ノ終リニ非常ニ出盛ル、偶月初メニ多少ノダブツキガ出來ルト云フヤウナコトヲ聽キマシタガ、斯ウシタコトハ已ムヲ得ヌダブツキデアルト思ヒマス、工場側ニ責任ノアルヤウナダブツキノ面ガアリマシタナラバ、是ハ何トシテモ配置上モ考ヘマシテ、左様ナコトノナイヤウニ關係當局トモ十分懇

談ヲシテ參リタイト思ツテ居リマスガ、總ジテ御意見ノヤウナコトニ付キマシテハ、文部省ト致シマシテモ、關係各省ト色々協議ヲ致シマシテ、御趣旨ニ合フヤウナ風ニ——元來サウ考ヘテ居ルコトデゴザイマスカラ、進メテ參リタイト思ツテ居リマス

○山口政府委員 只今ノ御話デアリマスガ、總ジテ學徒ニ對スル工場側トシテノ受入態勢ハ、工場ニモ依リマスガ、概シテ不十分デアルト云フコトハ、洵ニ遺憾ナガラ認メザルヲ得マセヌ、隨ヒマシテ御話ノヤウニ手持チ時間ノ活用ノコトカ、根本的ニ學徒ト云フモノヲ眞ニ諒解シテ之ヲ活カシテ職域ニ奉公シテ貰フコト云フ風ナ點ニ付テノ精神ノ面、隨テサウ云フ點ニ遺憾ノ所ガアリマス爲ニ、現實ノ施策トシテ例ヘバ手持チ時間ノ活用ナリ、或ハ休養ト云フ風ナコト、サウ云フ點ニ付テ種種遺憾ノ點ガアルコトヲ認メザルヲ得ナイト思ヒマス、是等ニ付キマシテハ、折角我々トシマシテモ關係方面トモ色々熟議ヲ凝ラシマシテ、徹底的ニ改善ヲシタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、尙ホダブツキノ問題デアリマスガ、是モ色々ナ「ケース」ガアル譯デアリマシテ、御承知ノヤウニ生産條件ガ意外ナ變化ヲ來スト云フヤウナコトニ依ツテ、已ムヲ得ズサウ云フ現象ヲ一時的ニ生ズルト云フコトモアリマスガ、是トモ決シテ望マシイコトデアリマセヌ、更ニ計畫的ニト言ヒマスカ、意識的ニ餘計ナモノヲ抱ヘル、斯ウ云フヤウナコトモアリマス、是等ハ出來ルダケ色々ナ方法ヲ以チマシテ、而モ片一方ニハ事實上人員ガ足ラヌ、斯ウ云フコトガアリマスノデ、ソレ等ヲ適正ニ調整シ、配置替ヲスル、斯ウ云フ風ナ

コトヲ強力ニ實行シタイ、斯様ニ思ツテ居リマス

○米田委員 ダブツキノ點ハ、原因ハ兎モ角トシテ御認メニナツテ居ルヤウデアリマス、私ハ原因ガ何ダカラドウ斯ウト云フノデハアリマセヌ、ダブツキノ儼然トシタ事實ガアル、其ノダブツキノ時間ヲ、ナゼ文部省ヤ其ノ他ノ官廳ハ學徒ノ利用サセナイカ、其ノ手ヲナゼ打タナイカ、三〇%モダブツキガアルト云フコトヲ豫算總會デ屢言ハレテ居ル、之ヲ一方ニ於テ見逃シテ置イテ、學徒ハ學徒のナレ、勤務即教育ト云フ掛聲ダケデハ教育ハ出來ナイト思ヒマス、現實ト離レタ行政ト云フモノハ役立タヌト私ハ思フ、ヨク私ハ考ヘルコトデスケレドモ、役所ノ説明ハ至レリ盡セリデスヨ、役所ノ説明ヲ聽イテ居ツタラ、現場ニハ何モ缺點ハナイヤウニ思ハレルノデアリマスガ、實際現場ニ當ツテ居ルトサウデヤナイ、丁度ハハ繼母ト繼子ノ關係ト同ジヤウナモノデス、繼母ハ食ヘルダケハ食ハシタト云フ、繼子ノ方ニ言ハセルト、俺ハ食ツテ居ナイト云フ、茲ニ一ツ私ハ親心ノ足ラヌ所ガアルト思フ、ピタリト來ナイ、オ役所ノ仰シヤル通りデアルナラバ、今日ノ戰局ハ私ハ招イデ居ラヌト思フ、學徒動員ハ一年ニシテ尙ホ今日斯クノ如キ狀態デアリマス、國家ノ最後ノ智能の勞力デス、之ヲ下手ニ使ツタナラバ何ニモナラヌコトニナル、ダブツキハ儼然タル事實デアアル、ソコデ一ツダブツイテ居ル時間ヲ勉強サス、此ノ手ヲ打ツテ戴キタイ、ソレカラ斯ウ云フコトハ學校ノ校長ガ要求シテモ先方ハ聽キマセヌ、殊ニ會社ノ人ナシカ——軍ノ監理官ナンカハ犬體生能一點張りノ考ヘ方デアル、是

ハ其ノ立場トシテ當然デアルト私ハ思フガ、校長ガヤカマシク言ツテモソレハ出来マセヌ、何處ヘ行ツテモ出来ナイ、縣廳ヘ行カウガ、文部省ニ行カウガ、ソレハ又調ベテ云フヤウナコトニナル、其ノ中ニダブツテ居ル時間ガ益殖エテ來ル、サウ云フ場合ニセメテ校長位ニ學徒ヲ引揚ゲル權限デモ與ヘルト云フコトハ出来ナイモノデセウカ、ソレカラ工員ガブラ／＼シテ居ルト云フコトヲ、ヨク見モスルシ、聞クノデスガ、私ノ知ツテ居ル會社デハ、工員ニ請負制ヲヤツタ——是ハ軍需省ノ御方ニ承リタイノデスガ、請負制ヲヤリマシタ、サウシテ學徒ニ斯ウ言フノデス、サウシテ學徒ニ斯ウ言フノデス、ドウダ少シ遊ンデ呉レヌカ、オ前達仕事シテ呉レルナ、俺達ノ仕事ガナクナル、斯ウデス、請負制ニシテラ忽チ工員ガ働キ出シタト云フ實例ヲ私ハ見テ居ル、ソコデ請負制ニシテハドウカ、之ニ付テハ又利害得失モアリマセウ、一定額ノ收入ガアレバモウアトハ休ンデ終フト云フヤウナコトモアリマセウ、或ハ粗製品ガ出来易イ、粗雜ナ物ガ出来易イト云フヤウナ缺點モアリマセウケレドモ、粗製品ニ付テハ検査ヲ嚴重ニスレバ宜シイシ、ソレカラ一定ノ收入ニ達シテモ、遊バヌヤウナ、又休マヌヤウナ施策ハ幾ラデモ私ハ打ツ手ガアルト思ヒマスガ、軍需省トシテハ請負制ヲ全面的ニ一ツ布イテ、工員ヲ「フル」ニ動かサヌヤウナ御考ヘハ如何デゴザイマセウカ、サウストヤハリ是ハ學徒ニ時間的ニ影響ガシテ來ルノデアリマシテ、相關關係ノアルモノデス

○山口政府委員 第一點、ダブツテ居ルノニ拘ラズ勉強サセナイト云フヤウナ工場ハ、校長ノ意思デ引揚ゲサセタ方ガ宜イザヤナイカト云フ點ニ付キマシテハ、是ハサウハ出来マセヌト思ヒマス、ヤハリ學校カラ教師モ附添ト言ヒマスカ、一緒ニ來テ居リマシテ、能ク其ノ事情ヲ實シマシテ、引揚ゲズニ寧ろ工場側、受入側ニ於ケル方ヲ方變ヘサセル、斯ウシテモ變ヘナイト云フ場合ニドウスルカト云フ所ニ來マシテ、初メテソコデ引揚問題マデ起ルカ起ラナイカト云フコトニナリマスガ、引揚ゲルト云フコトニ持ツテ行カナイデ、寧ろ其ノ配置場所ニ於キマシテ時間ヲ十分ニ活用シテ、行學一體ニナルヤウニヤツテ行キタイ、斯様ニ思フノデアリマス、ソレカラ學徒ノ請負制ノ問題デアリマスガ、是ハ私具體的ナコトヲ承知シテ居リマセヌガ、考ヘ方トシマシテハ、事務ニ依リ、及ビ其ノ學徒ノ技能、性質ニ依リマシテ、却テ其ノ方ガ效果ヲ擧ゲルト云フコトモアラウカト思フノデアリマス、現在ノ情勢トシマシテハ、賃金ノ點カラ見マシテモ、基本ノモノハ一種ノ報奨的ノモノデアリマシテ、概シテ所謂本番制ノヤウナ形態ヲ執ツテ居リマス、場所ニ依リ、仕事ニ依リ、又ソレノ働キ手ノ種類ニ依リマシテ、勤務意欲ヲ昂揚スルノニ、請負制ヲ執ツタ方ガ效果ガ現ハレテ却テ宜イト云フ場合モアラウカト思ヒマス

○永井政府委員 校長ノ獨自ノ權限デ以テ學徒ヲ引揚ゲルト云フヤウナコトハ聊カドウカト思ヒマスルシ、學徒勤勞令ニハサウ云フ風ニ規定ハシテ居リマセヌケレドモ、併シナガラ勤務ガ長期ニ互ツテ過剩デアル場合、又著シク受入態勢ガ不備デアリマシテ、學徒勤勞ノ精神ニ悖ツテ居ルト云フヤウナモノニ對シマシテハ、從來ト雖モ學徒勤勞令ノ建前カラ關係省ト協議シマシテ、勤勞員ノ停止ヲ致ス方針デゴザイマシテ、若干ノ實例モゴザイマスルシ、今後モ其ノ方針デ參リタイト思ツテ居リマス

○米田委員 モウ實際ニサウ云フヤウナ場合ニ兎角時間ヲ空費マス、是ガ決斷下ノ非常ナ罪惡ダト思ヒマス、此ノ點ハ今後トモ御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス、現在兎ニ角行ツテ見テ、實際ト言ハレテ居ルコトト如何ニ相違スルカト云フコトハ涙ナクシテハ歸レナイ、之ヲナクスル爲ニハ、私ハ何カ常置ノ査察委員ミタイモノヲ置イタラドウカト思ヒマス、ソレハ必ズシモ官廳側ニモ囚ハレナイ、工場側ニモ學校側ニモ囚ハレナイ、純然タル高イ國家ノ見地ノ者ヲシテ當時アチコチ査察サス、軍ノ監理官ト云フノハ生産ダケヲ御考ヘニナル、ソレハ其ノ立場トシテ當然デス、ダカラサウ云フ立場デナク、高イ立場デ査察スル、一方常置委員會デモ何デモ宜イ、兎ニ角サウ云フヤウナモノヲ任命スル、是ハ此ノ前ノ八十五議會ノ建議ノ時ニモ建議トシテ申上ゲタ所ガ、今井政務次官カラ大體サウ云フコトヲヤルヤウナ御話ガアリマシタガ、監理官ト云フノハ任命セラレマシタカ如何デゴザイマセウカ

○永井政府委員 府縣廳ノ教員課長、視察官、其ノ他ノ者ニ對シテ、或ハ文部省ノ學徒勤勞ニ對スル課長、事務官等ニ對シマシテ、軍需監理官ヲ兼務致サセマシテ、各工場ニ直接參リマシテ、學徒勤勞ノ狀況ノ視察ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ、御話ノ如ク今井政務次官カラ御答辯ガアツタ通りニ、其ノ方針デ進ンデ居リマスガ、實ハ任命ノ手續ガ聊カ遅レテ居リマシテ、マダ發令ニナツテ居リマセヌガ、是ハ極メテ近イ中ニ發令ニ相成ルコトデアラウト思ヒマス

○米田委員 ソレカラ會社ガ學徒ヲ働カストコトニ依リマシテ、非常ニ収益ヲ上ゲル、此ノ収益ヲ會社自體ノ所得トシナイデ、何カ全學徒ノ爲ニ國家ノ之ヲ何トカ出サセルト云フヤウナコトヲ考ヘラレナイモノカドウカ、今日ハマダ學徒モソコマデ考ヘガ及ンデ居ラナイカトモ思ヒマスガ、ボツ／＼斯ウ云フコトハ考ヘル筋合ノコトデアリマスシ、極ク少數ノ者ハ考ヘテ居ルト云フヤウナコトモ聞イテ居ル、ドウモ我我ヲ使ツテ巧イコトヲシテ居ル、待合ナンガ何時ノ間ニカ俺ノ行ツテ居ル會社ノ看板ガ掛ツテ居ル、何トカ分室ニナツテ居ル、アンナ所ノ女中ハ其ノ儘會社ノ社員トナツテ居ルノダ、ソレデ重役ガ彼處ヘ入ツテ居ルノダト云フヤウナ、是ハ神經營ノ考ヘ方ト思ヒマスガ、兎ニ角學徒ハ純眞デスカラ、自分達ガ國ノ爲ニナツテ居ルノダト思ヘサヘスレバ宜イ、ダカラ一種ノ會社ノ不當利得トデモ言ヒマスカ、サウ云フヤウナモノハ何カノ方法デ吐出サス、斯ウ云フ手ハ軍需省アタリ、又文部省アタリノ御發給デ出来ナイモノデセウカ

○永井政府委員 學徒勤勞ニ付キマシテ、正式ノ報償等デナシニ、學徒ノ授護ノ爲ニ色々ノコトヲ考ヘタイト思ツテ居リマシテ、場合ニ依リマシテハ、學徒ガ勤勞致シテ居リマスル會社工場等ニ相當ノ出費ヲ煩ハシタイト云フ風ニモ、只今考ヘニ居リマスガ、マダ發表ヲ致ス時期デゴザイマセヌノデ、其ノ氣持ダケヲ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○最上委員 只今政府委員ノ御答辯ノ所謂勤勞ノダブ付キニ付テ勤勞令ニナイト云フコトヲ言ハレマシタガ、第十二條ニハ「文部大臣又ハ地方長官ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ事情アル場合ニ於テハ學校報國隊ニ依ル學徒勤勞ノ全部又ハ一部ノ停止ニ關シ必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得」ト云フ規定ガアル、又施行規則ニ依レバ第九條ノ一項ニ明カニ「勤勞員過剩トナリ學徒勤勞ヲ繼續スルノ要ナシト認メラル、場合」ト云フコトガアリマス、之ヲ適用サレタコトガアリマセウカ

○永井政府委員 先程私御話ノ通り申上ゲタノデ、勤務ガ過剩ノ場合、又著シク受入態勢ガ不備ノ場合ニ於キマシテハ、學徒勤勞ヲ停止スルコトガ出来ルノデアツテ、サウ致シマシタ例モ若干ゴザイマス、ト云フコトハ先程御答辯申上マシタ通りデゴザイマス

○米田委員 軍需省ノ御意見ハ如何デセウカ、是デ大分會社ハ普通工員ヲ使フヨリモ儲カル筈ナデス、サウ云フコトヲ此ノ頃皆學徒ガボツ／＼考ヘテ居ルラシイ、ソレハ他カラ智慧ヲ付ケテ居ル者モアル、是ハ容易ナラヌコトデアルト思ヒマス、國家トシテ何カノ方法デ全學徒ノ爲ニ何カシテヤリタイ、後援會ニ今總務局長ハ出サスト仰シヤイマシタケレドモ、後援會ヘ出ス金ハ知レタモノデス、ソレハ喜ンデ出シマスガ、モツト大幅ニ考ヘラレマセヌカ

○山口政府委員 御趣旨ノサウ云フ面カラノ配慮モ必要カト思フノデアリマスガ、會社ノ經理ノ問題デアリマスノト、ソレカラ今ノ學徒ニ對スル給與ノ性質ハ、報償ト云フ意味ニ於テ取扱ツテ居リマス、サウ云フ點カラ見マシテ難カシイ問題ダト思ヒマスガ、御趣

旨ノ點ハ、サウ云フ方向ニ向ツテ何等
カノ配慮ガ出來ルコトハ望マシト思
ヒマスノデ、尙ホ能ク研究ヲ致シタイ
ト思ヒマス

○米田委員 是ハ學徒ガソナコトニ
色々ナ氣持ヲ持ツテ、萬一氣持ノ上カ
ラ生産ニ影響スルヤウナコトガアツタ
ラ、其ノ時ニヤツテモ遲イノデス、ダカ
ラ今はハ堂々タル當然ノ考ヘデスカ
ラ、學徒個人ガ吳レト言フノデハナ
イ、學徒個人ハ報償金ガ幾ラニナツテ
モ文句ヲ言ヒヤシマセヌ、モツト減ツ
テモ文句ハ言ハナイダラウト思ヒマ
ス、ソレヨリモ會社ガ之ニ依ツテ不當
ニ利得スル點ヲハツキリサシテ貰ヒタ
イ、サウシテ學徒ガ働クコトハ、結論
トシテ會社ノ利益ニナラナイノデ、國
ノ利益ニナルノデ、斯ウ云フ態勢ヲ經
濟面ノ方カラモ確立シテ貰ヒタイ、
デナイト別荘トカ温泉旅館トカ直グ
ニ何々軍需會社ノ看板ガ掛ル、之ヲ學
徒ハ見ルノデス、符合ニモ掛ル、斯ウ
云フ矛盾ニ實際ニ打突ツタ時ニ、必ズ
大キナ問題ガ生ジテ來ル、火事が起ツ
カラ水ヲジャア／＼掛ケタツテ中々消
エナイ、是ハアナタダケノ御考ヘデ
ハ、大變大キナ問題デスカラ、御迷惑
カト思ヒマスガ、十分官廳側ノ輿論ヲ
起シテ戴イテ、目的ヲ達スルヤウニ御
願ヒシタイト思ヒマス

○高城委員 一寸關聯シテ……今ノ問
題ニ付キマシテ、或ル工場デ學徒ガ庶
務會計ノ仕事ヲサセラル、調ベテ見
タ所ガ、自分ガ國民學校デ一緒デアツ
タ子供ガ、同ジ十八、九ノ者ガ百九十
圓ノ賃收入ヲ取ツテ居ル、サウシテ學
徒ノ方ハ五十圓デアツタト云フコトヲ
明カニ見タノデス、斯ウ云フコトヲ放
ツテ置キマス、工場ノ國家的運營ト

云フヤウナコトガ起ツテ參リマシテ、
非常ナ大キナ問題ヲ誘發スル根源ニナ
リマス、今米田委員ノ言ハレル點ニ付
キマシテハ、十分ニ一ツ責任ヲ以テ御
檢討ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望スル
ノデアリマス、宜シク御願ヒ致シマス

○渡邊(健)委員 ソレニ關聯シテ學徒
ハ報償金ノ問題デスガ、學徒ノ報償金
ハ是ハ政府デ定メラレテ何處モ同ジダ
ト思ヒマスガ、「ボナナス」ガ非常ニ區
區ダト思ヒマス、或ル會社デハ暮ノ十
二月デ二十圓貰ツタ、四十圓貰レタ所
ガアル、五十圓貰レタ所ガアル、ソレデ
而モ同ジ學級デ片方ノ甲ノ組ハ甲ノ會社
ニ行ク、乙ノ組ハ乙ノ會社ヘ行ク、其ノ同
ジ學級ノ中デ「ボナナス」ガ違ツテ居ル
ト云フヤウナコトデエライ不平等ヲ持ッ
テ居ルト云フヤウナコトヲ聞イテ居リ
マスガ、是ハ今米田委員ノ言ハレタヤ
ウニ「ボナナス」ナドハ一定シテシマツ
テ、其ノ「ボナナス」ヲ餘計ニ出スト云
フヤウナ所カラ、サウシタ金ヲ出スト
云フヤウナコトモ一ツノ方法デヤナイ
カト思フノデスガ、是ハドノナ風ニ考
ヘマス

○永井政府委員 學徒ノ場合ニ於キマ
シテ、御話ノ如キ「ボナナス」ヲ出スモ
ノダト云フ建前ニハナツテ居ラナイノ
デアリマス、隨テ會社毎ニ「ボナナス」
ノ額ガ色々違ツテ、同ジ學級デアリナ
ガラ隨分ソコニ凸凹ガアルト云フヤウ
ナ事態ハ生ズル譯ノナイ建前デアルノ
デアリマスケレドモ、併シナガラ事實
ニ於キマシテ各會社工場ニ於テ、他ノ
コトニ依ツテサウ云ツタヤウナ金額ヲ
渡シテ居ツテ、ソレノ金額等ガ色々凸
凹ガアルト云フ事態モ實ハアルヤニ私
モ伺ツテ居リマス、隨テサウ云ツタヤ
ウナモノノ取扱ヲドウ云フ風ニスル

カ、或ハヤルトスレバ金額ヲ一定スル
カト云フヤウナコトニ付テハ、十分研
究ヲ致シテ參リタイト思ツテ居リマ
ス、實ハ可ナリ細カニ報償ノ問題ハ規
定ヲ致シテ居ルノデゴザイマスガ、今
ノ點ニ付テハソコマデ規定ヲ致シテ居
ラナカツタト思ヒマスノデ、十分研究
ヲ致シテ見タイト思ヒマス

○米田委員 此ノ間新聞ニ學徒動員令
ニ關スル勅令案要綱ト云フモノガ出
タ、ソレニ依リマス、厚生省デ總テノ
學徒ノ動員ノコトハ、立案シタモノヲ
文部省ニ移シテ、ソレカラ文部省ガ生
徒ヲ出ス、斯ウ云フヤウナ關係ニナツ
テ居ツタト思ヒマスガ、サウ云フヤウ
ニナリマシタノデスカドウデアリマス
カ

○永井政府委員 學徒動員ノコトニ付
キマシテハ從來ト何等變ツテ居リマセ
ヌ、此ノ間厚生省ノ方デ勸勞關係ニ關
スル色々ナ勅令、即チ勸勞關係協力令
デアルトカ、女子挺身隊令デアルトカ
其ノ他色々ノ勸勞關係ノ法令ヲ一纏メ
ニ致シマシテ、國民勸勞令ト云フ一本
ノ勅令ニシテ出シタノデアリマス、併
シ學徒ノミニ付キマシテハ其ノ特殊性
ヲ重シジマシテ、學徒デハ一本ニ致シ
マセヌデ、從來ト同ジク學徒勸勞令ト
シテ別個ニ扱ヒガサレテ居ル譯デアリ
マス、隨テ從來ト何等異ナツテ居リマ
セヌ、唯御質問ノ趣旨ガドノ位ノ勞務
ノ數ガ要ルカト云フ數ノ見當ヲ付ケ
テ、何處ソコノ府縣ニ此ノ位ノ人間ガ
要ルカラ、學徒トシテ之ニ幾ラ出シテ
欲シイト云ツタヤウナ勞務上ノ全體ノ
計畫ト云フモノハ、是ハ從來ト雖モ厚
生省ガ一元的ニ考ヘテ居リマス、併シ
現實ニ何處ノ學徒ヲドウ云フ風ニ出シ
テ其ノ監督ヲドウ云フ風ニスルト云ツ

タヤウナコトハ、是ハ全ク國民勸勞令
ト切離サレタ別途ノ學徒勸勞令ノ運用
ニ依ツテヤツテ居リマスコトハ從來ト
同様デゴザイマス

○村松委員長 本委員會ハ各委員諸君
ト御諮リシマシテ、本日中午質疑終了
ノ豫定デ進ンデ參リマシタガ、五時以
後ニナリマスト部屋ヲ變ヘテヤラネバ
ナラヌコトニナリマスノデ、出來ルダ
ケ五時ヲ以テ終了致シタイト思ヒマ
ス、隨テ御質問ハドウカ簡潔ニ御願ヒ
ヲシ、又ハ御答辯モ極メテ簡潔ニ御願
ヒヲシテ進メタイト思ヒマス——ソレ
デハ花村君

○花村委員 私ノ言ハントスル大部分
ハ他ノ諸君ガ質問シテ下サツタノデ、
私ハ極メテ簡潔ニ青年學校ニ關スル
問題ト學徒動員ニ關スル問題、此ノ二
ツニ付テ御尋ネテ致シタイト思ツテ居
リマス、申スマデモナク青年學校ノ教
育ヲ受クベキ者ハ全國ノ國民學校ヲ卒
業シタ者ノ八割強ガ所謂青年學校徒ト
ナリ、其ノ他ノ者ガ上級學校ヘ進學ス
ルト云フ率ニナツテ居ルノデアリマス
ガ、此ノ數字デケテ見テモ、如何ニ青
年教育ガ重大デアルカト云フコトハ明
瞭デアラウト思フノデアリマス、而シ
テ此ノ日本ノ中堅トナルベキ青年ヲ教
育シ、更ニ進ンデハ大東亞共榮圈十億
ノ民族ヲ推進力トナツテ、サウシテ東
洋ノ民族ヲ指導シテ行カケレバナラ
ヌ國民ヲ造ラナケレバナラナイノデア
リマスカラ、青年教育ノコトタルヤ洵
ニ重要デアルト申サナケレバナラヌト
思フノデアリマス、此ノ教育ノ任ニ當
ラレル青年師範學校ヲ出ル教員ニ對ス
ル一ツノ優遇ノ方途トシテ本案ガ出サ
レタノデアリマスガ、是ハ洵ニ時宜ヲ
得タモノデ、國民師範學校ヲ出タ者ト

同一ニ扱フト云フコトハ當然過ギル程
當然デアルト申サナケレバナラヌト思
フノデアリマス、併シナガラ現在行ハ
レテ居リマスル青年教育其ノモノヲ見
マスルト、洵ニ凡ユル面ニ於テ缺陷ダ
ラケデアルト申上ゲテモ決シテ過言デ
ハナカラウト思フノデアリマスガ、今
日ノ此ノ青年學校ニ於ケル教育ノ様相
ヲ其ノ儘ニ、果シテ青年學校教育ガ軌
道ニ乘ツテ居ルト斯ウ文部省ハ御考ヘ
ニナツテ居リマスカドウカ、先ヅ此ノ
點ヲ御伺ヒ致シマス

○阿原政府委員 只今御尋ネノ青年學
校ノ教育ハ是デ十分デアルカドウカト云
フ御質問デアリマスガ、青年學校教育ニ
付キマシテハ數年來青年學校ノ先生ニナ
ル者ノ素質向上トカ、或ハ又青年學校
ノ先生ノ待遇改善ニ付キマシテ、非常
ナ御骨折ニ依リマシテ段々改善サレテ
參ツテ居ルノデアリマスガ、現在ノ青
年學校ノ教育内容ヲ以テ十分カト云フ
コトニ付キマシテハ、私共現下ノ色々
ナ狀況ト考ヘ合セマシテ決シテ十分ト
ハ思ツテ居リマセヌ、今後更ニ此ノ内
容ノ改善ト云フコトニ付キマシテハ十
分研究致シマシテ、實際其ノ制度ノ完
備ト相俟チマシテ、青年教育ノ實ヲ擧
ゲルヤウニ努力シテ行キタイト考ヘテ
居リマス

○花村委員 私人質問ニ對シテモ軌道
ニ乘ツテ居ラヌト云フコトヲ御認メニ
ナツテ居ル、更ニ私ハ青年學校ノ教育
者ノ面ニ付テ少シ伺ツテ見タイト思
フ、要スルニ今日青年學校ノ教育ノ衝
ニ當ツテ居リマスル者ハ、専任教員ト
シテ僅カナ者ト、サウシテ之ニ配スル
ニ兼任教員ヲ以テ致シテ居ルノデアリ
マス、併シ兼任教員ト致シマシテモ洵
ニ數ガ少キニ失スルノデアリマス、尙

且今日デハ應召セラレタ教員等モ相
當アリ、專任教員ヲ致シマシテハ益、
其ノ數ガ少クナツテ來テ居ル實情ニ
マシテ、專任教員ヲモウ少シ増スベ
キガ至當ナルト思ヒマスガ、若シ此
ノ宗員數ヲ増スコトガ出來ナイト致シ
マシテモ、出征シテ缺員ニナツテ居
ル補缺位ハ補充スルコト云フ方法ヲ講
ズベキガ適當デアラウト思フデアリ
マスガ、此ノ點如何デセウカ

○阿原政府委員 青年學校ノ專任教員
ノ數ガ少イト云フコトハ御尋ネノ通り
デアリマス、私共モ出來ルダケ、別ニ
宗員ト云フモノガアル譯デアリマセ
カ、立派ナ青年學校ノ先生ヲ養成致
シマシテ、之ニ配置致シタイト考ヘテ
居リマスガ、現下ノ情勢ハ應召者モ相
當ゴザイマスシ、之ニ對スル補充ニ付
キマシテハ、今臨時ニ色々養成施設ヲ
講ジマシテ、之ニ依ツテ補充ヲヤツテ
居ルヤウナ狀態デアリマスガ、將來ニ
付キマシテハ青年師範學校ノ擴充ニ依
リマシテ、十分專任教員ノ數ヲ増スヤ
ウニ努メタイト思フテ居リマス

○花村委員 私立將來ノコトヲ御尋ネ
スル譯デアリナイデスガ、現實ノ問題
ヲ提ヘテドウ考ヘルカト云フコトヲ御
伺ヒ致シタイノデアリマスガ、實ハ今
日ハ專任教員ニ配スルニ兼任教員ヲ以テ
致シテ居ルノデアリマスガ、此ノ兼任
教員ナルモノガ寧ろ有害ナルト申上
ゲテ宜カラウト私ハ思フノデアリマ
ス、サウシテ要スルニ併合授業ヲヤツ
テ居ル、專任教員ガ足ラヌト云フ意味
ニ於テ此ノ併合授業ヲオヤリニナツテ
居ルト思フノデアリマスガ、併シ是
トモモウ少シ創意工夫ヲ凝ラスト云
フコトデ、此ノ生徒ノ出席日ヲ配分致シ
テ參リマスルナラバ、必ズ此ノ併合授

業ヲヤラナケレバナラヌト云フコトニ
ハ相成ルマイト思フノデアリマス、此ノ
點ハ全部ガ全部ト云フノデアリマス
ヌガ、大部分ガ併合教授ヲヤツテ居ル、
デアリマスルカラ、是ハ專任教員
ヲ——只今御聽キヲ致シマスレバ宗員
ハナイト云フコトデアリマスガ、勿論
宗員ハアリマセヌガ、併シ現在ノドノ青
年學校ハ何人ノ專任教員ガ必要デア
ルカト云フ大體方針デハ決ツテ、サ
ウシテ其ノ宗員ト申シマセウカ、其ノ
必要數デハ大體ニ割振ラレテ居ルト
私ハ聞イテ居ルノデアリマス、其ノ割振
ラレテ居ル專任教員スラモ出征等ニ依
ツテ非常ニ少クナツテ居ルト云フヤウ
ナ關係カラ、併合教授ト云フモノヲヤ
ツテ居ル、斯ウ云フ點カラ見マシテ
モ、青年學校ノ教育ガ重大ナルトス
レバ、モウ少シ眞剣ニ學校教育ト云フ
モノヲ考ヘテヤツタラドウカ、今ハ殆
ド是ハ形デケデアリマス、一年モ二年
モ三年モ四年モ五年モ一緒ニ集メ
テ、サウシテ二年カ三年ノ教科書ヲ持
ツテ來テ、同じコトヲ全部ノ生徒ニ教
ヘテ居ルト云フヤウナ教育方針デハ、
學校教育デアラカドウカガ分ラナイ、
コンナ殆ド名バカリノ教育ナラ寧ろ私
ハヤラザルニ如カズト言ヒタイノデア
リマス、恐ラク青年學校ノ生徒モ、學校
ニ來テ教育ヲ受ケテ居ルト云フヤウナ
本當ノ觀念ヲ持ツテ居ルカドウカト云
フコトヲ疑ハザルヲ得ナイ、勿論是ハ
公立ノ青年學校ニ付テ言フノデアリマ
スガ、又私立ノ青年學校ニ於テハ或ハ
又工場ハ動員サレテ居ル公立ノ青年學
校ノ教育ニ於テモ又然リデアルト申シ
テ宜カラウト思フノデアリマス、斯様
ナ次第デ、而モ此ノ兼任教員ト云フノハ
出タリ出ナンダリ、出テ參リマシテモ

殆ド青年教育ニ對スル理解モ熱意モ持
ツテ居ラナイ、唯御役目ニ出テ來
テ、サウシテ碌々精進ヲ打込ンダ教育
スラモヤラヌト云フヤウナ實際ノ事情
ニ置カレテアルノデアリマスガ、是ハ
洵ニ遺憾ニ堪ヘナイノデアリマス、斯ウ
云フ點ヲモウ少シ本當ニ青年學校ハ青
年學校ラシタ、其ノ建前ニ於テ教授ヲ
ヤツテ行タト云フヤウナコトヲ眞剣ニ
考ヘラレヌデセウカ

○阿原政府委員 青年學校ニ付キマシ
テ色々示唆深イ御尋ネガアツタノデア
リマスガ、御承知ノヤウニ青年學校ノ
教育ハ、生産ニ從事シツ、學ブ者ヲ大
體對象ト致シテ教育致シテ居ル關係モ
アリマシテ、青年學校ニ依リマシテ、
非常ニ完備致シ、又晝間通年制デ非常
ニ良好ツテ居ル所モアリマシ、中
ニハ極メテ設備ガ惡ク、又ソレダケノ
教育モ十分ニヤリ兼ねテ居ルヤウナ學
校モアリ、色々アルト思ヒマス、本省
ト致シマシテハ、青年教育令ニ依リマ
シテ、大體青年學校ノ基準ガ定メラレ
テ居リマスカラ、其ノ基準ニ副フヤウ
ニ指導致シテ參リマシテ、數年前ニ比
シテハ、青年學校ノ教育内容ト云フモ
ノハ非常ニ良好ナツテ來テ居ルト云フ
コトハ、私カラ申スマデモナイト思フ
テ居リマス、唯現下ノ時局ノ情勢ハ、
青年學校ノ生徒モ單ニ自分ノ勤勞以外
ニ、ヤハリ更ニ勤勞ヲ強化サレルヤウ
ナ狀態デアリマシテ、他ノ學校ト同ジ
ヤウニ、授業時間モ手持時間ト云フヤ
ウナ時間ニ限ラレテ、殆ド生産ノ方ニ
働イテ居リ、其ノ働イタ所ノ成果ヲ寧
ろ學業成績ト見做シテヤツテ居ルヤウ
ナ、所謂勤勞ニ即シテ教育ヲヤツテ居
ルト云フヤウナ實情ニナツテ居リマ
ス、サウ云フ點カラ見マス、從來ノ

青年學校ノ教育カラ考ヘマシテ遺憾ノ
點ハ多クアルト思ヒマスガ、併シナ
ガラ是等ハ現下ノ要請ニ即應スル爲ニ
已ムヲ得ナイコトヲ考ヘマシテ、ソレ
デモ事情ノ許ス限リニ於キマシテ、教
育施設ノ充實、先生ノ指導ニ依リマシ
テ、青年學校教育ノ普及徹底ト云フコ
トニ出來ルダケノ力ヲ致シ、又今後モ
致シタイ、左様ニ考ヘル次第デアリマ
ス

○花村委員 青年學校ノ模範的ナ立派
ナモノガアルト云フ御話デスガ、其ノ
學校ハ何處カ、御指示ヲ願ヒタイト思
ヒマス
ソレカラ青年學校ノ教員ハ、ドチラ
カト申シマスルト、兎角國民學校デ使
ヘナイヤウナ古い、年ヲ取ツタ先生ヲ
青年學校ノ方ニ廻ハシテ居ル、隨テ迫
力ヤ氣力ヲ持ツテ居ラナイ、サウ云フ
先生ガ、此ノ意氣ハ燃ユル若キ青年ヲ教
育シテ行タト云フノデアリマスカラ、
是ハ洵ニ無理ガアラウト思フノデアリ
マスガ、斯ウ云フ點ヲモウ少シ少壯氣
鏡ナ、迫力ヲ持ツタ、本當ニ青少年ノ
中ニ自分自ラ飛込ンデ、サウシテ青少
年ト共ニ進ンデ行タト云フヤウナ先生
ヲ持ツテ來ルト云フヤウナコトニ御考
ヘニナラレタラドウデアリマセウカ、
又現在ノ教員ニ致シマシテモ洵ニ能率
ガ上ツテ居ラナイ、デアリマスカラ、
今ノ先生ニ對シマシテハ、十分トハ言
ヘナイノデアリマスケレドモ、其ノ
一人々々ノ全能力ヲ効率化スルト云フ
コトデアリマスナラバ、青年教育ト云
フモノハマダモツト向上サレルベキデ
アラウト思フノデアリマスガ、併シ兎
角此ノ專任教員ニ致シマシテモ、外ハ
内緒デ就職ラシ、或ハ月給取リヲスル
ト云フヤウナコトデ、内職ヲ致シテ居

ルト云フヤウナ非難モ相當ニアリ、又
サウ云フ事實モアルノデアリマスガ、
サウ云フコトノナイヤウニ、能ク文部
省ニ於テモ、之ヲ指導監督シ、サウシ
テ其ノ專任教員ノ全能力ヲ遺憾ナク發
揮サセルト云フ方途ヲ、十分ニ講ゼラ
レタラドウカト思フノデアリマスガ、
其ノ點ハ如何デセウカ

○阿原政府委員 優良ナ青年學校ニ付
キマシテハ、今手許ニ持ツテ居ラナイ
ノデスガ、調ベタモノガゴザイマスカ
ラ、是ハ後進差上ゲタイト思ヒマス、ソ
レカラ青年學校ノ先生ハ國民學校ノ古
手ガ多イト云フ御話デアリマスガ、國
民學校カラ良イ先生ガ行ク場合モゴザ
イマスシ、又青年教育ニ非常ニ熱意ニ
燃エタ立派ナ指導者ガ青年學校ノ先生
ニナツテ居ル例モ決シテ少クハゴザイ
マセヌ、文部省ト致シマシテモ、青年
學校ノ教育内容ノ充實ハ、ドウシテ
モ指導者ニ其ノ人ヲ得ルト云フコトガ
最も大キナ眼目デアル、斯様ニ考ヘテ
居リマスカラ、將來此ノ青年師範學校
ノ卒業生、又昨年青年學校教員ノ門戸
ヲ開キマシテ、學識經驗アル立派ナ人
ヲモ教員ニ採用スル途モ開イテゴザイ
マスカラ、サウ云フ方面カラ人材ヲ招
致致シマシテ、青年學校教育内容ノ充
實ニ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○花村委員 次ニ教練科ノ教師ニ付テ
一言御尋ネシタイノデアリマスガ、今
日此ノ教練科ノ教師ト云フモノハ洵ニ
缺乏ヲ感ジテ居ルヤウデアリマス、
是ハ現役下士官ヲ配屬スルト云フヤウ
ナ方法ヲ考ヘタラドウカト思ヒマス
ガ、如何デセウカ

○阿原政府委員 御趣旨ニ私共ハ同感
スルノデアリマスガ、現在ノ情勢デハ
中々サウ云フ人ガ得ラレナイノデ、努

力ハ致シテ居リマスガ、其ノ實現ヲ期シ難イ實情ニアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイと思ヒマス

○花村委員 此ノ點ハ青年學校ニ於テモ現役下士官等ノ配屬ヲ希望シテ居ル筋ガ殆ド總テノヤウデアリマスカラ、此ノ點ハ一ツ文部省ニ於テカレモ十分ニ御考ヘニナツテ戴キタイと思ヒマス、ソレカラ現在ノ青年學校ノ專任教員ニ對シマス再教育ト云フコトモ最モ必要デアラウト思フデアリマスガ、ソレハドノ程度ニヤツテ居リ、又將來ドウオヤリニナル計畫ガアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○阿原政府委員 其ノ點ハ專任教員、又教練科ノ教師、兩方トモ再教育ヲ毎年ヤツテ居リマス

○花村委員 ソレハドウ云フ機構デヤツテ居リマセウカ、何處カヘ頼ンデヤツテ居マスカ

○阿原政府委員 各府縣ニ委託致シマシテ、府縣毎ニヤラシテ居リマス

○花村委員 府縣毎ニ講習會トカ、或ハ道場、研究所トカ、何カサウ云フヤウナモノヲ設ケテヤツテ居ルノデスカ、或ハ他ノ學校ニ委託スルトカ、何トカ云フ方法デヤツテ居ルノデセウカ

○阿原政府委員 縣ニ委託致シマシテ、大體青年師範學校デヤツテ居リマス、之ニ對シマシテハ本省カラ補助金ヲ出シテ、ソレニ依ツテ實施セシメテ居リマス

○花村委員 ソレカラ更ニ進ミマシテ、青年學校ニ對スル給與ノ點ヲ伺ヒタイと思フデアリマスガ、實ハ國民學校ニ致シマシテモ、或ハ中等學校ニ致シマシテモ、又專門學校ニ致シマシテモ、工場、事業場等デ働イテ居ル學徒ハ工場ノ方カラ衣料其ノ他ノ配給ヲ

受ケテ居ルノデアリマスガ、尙且ツ學校ノ方デモ受ケテ居ル、然ルニ青年學校ニ付テハ殆ド何等ノ配給モナイ、學徒ノ方ハ勿論工場若シハ事業場ニ參ツテ居リマスカラ、其ノ方面カラ配給ハアルノデアリマスガ、併シ他ノ學徒ノヤウニ學校カラ配給ガナイ、殊ニ困ツテ居リマスノハ教員モ或ハ中等學校ノ教員モ、學校ノ方カラ配給ヲ受クルノ機會ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、青年學校ニ對シマシテハ、斯ウ云フ面ガ殆ドナイ、斯ウ云フ點ハ一般ノ他ノ學校ト同様ニ青年學校モ御扱ヒニナルト云フ御考ヘハ持ツテ居ナイデセウカ、例ヘバ衣料デアルトカ、作業服デアルトカ、鍊成靴デアルトカ、其ノ他ノ物デアリマスガ、ソレハドウデセウカ

○阿原政府委員 教職員ニ付キマシテハ、國民學校ト同ジヤウニ配給ガアルト考ヘテ居リマス、生徒ニ付キマシテモ配給ハアルト思ツテ居リマスガ實情ハドウナツテ居リマスカ、具體的ニ私ハ存ジマセヌノデ御答ヘ申上ゲ兼ネマス

○花村委員 配給ガナイト云フコトヲ私ハ聞イテ居リマス、斯ウ云フコトガヤハリ青年學校ヲ繼グ扱ヒニシテ居ルト云フヤウナコトニナル、隨テ是ガ青年教育ノ進歩向上ヲ阻礙シテ居ルノデハナイカ、當局者ガ此ノ青年學校ノ重大性ニ鑑ミテ、此ノ教育ヲ飽クマデモ立派ニ向上セシメテ行クト云フ熱意ヲ持ツテ居ラヌノデアリドウカ、ソレ故ニ青年學校ガ舊態依然トシテ一向進歩シテ行カナイノデアラウト私ハ言ヒタイノデアリマス、此ノ配給ノ如キ受ケテ居リマセヌ、御調ベニナレバ分ル、ソレヲ受ケテ居ルト云フヤウニ御

考ヘニナツテ居ルコト自體ガ既ニ間違ツテ居ル、モウ少シ熱意ヲ以テヤツテ戴キタイト云フコトヲ私ハ御願ヒ致シテ置キマス、ソレカラ工場、事業場ニ於テ青年學校ノ生徒ト其ノ他ノ學徒ト工員トドウ云フヤウナ扱ヒヲ致シテ居リマスガ、其ノ點ハ一ツ御伺ヒシタイと思ヒマス、詳シク言ヘバ、工員トシテ扱ツテ居ルノカ、或ハ學徒トシテ扱ツテ居ルノカ、工員ト學徒ノ兩方ノ面カラ扱ツテ居ルノカ、青年學校ノ生徒ハドウ云フ扱ヒヲシテ居リマスカ

○阿原政府委員 青年學校ノ生徒ハ生産ニ從事シテ居ル者ガ學校ニ入ル譯デアリマスカラ、學校ニ居ル間ハ勿論青年學校ノ學徒デアリマスガ、工場ニ勤務シテ居ル間ハ工員トシテ扱ツテ居ルト考ヘテ居リマス

○花村委員 勿論ハ産業戰士デアリマスカラ、工員ニハ違ヒアリマセヌガ、併シソノニ學徒トシテノ扱ヒモ加味スルコトガ必要デハナイデセウカ、一面ニ於テ工員デハアルガ、併シ自分ハ青年學校ノ生徒デアリ、生産面ニモ働カガ又學問ノ方ヘモ行クノダト云フ氣持ヲ持タセルコトガ、青年教育ニ對スル向學ノ精神ヲ植付ケ、益、學問ニ生徒自ラガ精進ヲ打ち込ンデ行クト云フヤウナコトニナルノデアリナイカト私ハ思ヒマス、斯ウ云フ點ヲモウ少シオ考ヘニナラレルコトガ青年學校教育ノ面カラ望マシイコトデアルト思ヒマスガ、如何デアリマセウカ

○阿原政府委員 私共御趣意ニ對シテハ御同感致スノデアリマス、工場、事業場等ニ於テ青年學徒ニ付キマシテハ、勿論ソノ入ツテ來ル學徒ハ工員デアアルカラ、其處ノ中堅幹部トナル意氣込メテ勉強致シマスシ、又工場側ニ

於キマシテモ、サウ云フ意味ニ於テ指導致シテ居リマスカラ、御趣旨ノヤウニナツテ行クノデアリナイカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○花村委員 是レデ青年學校ニ關スル質問ヲ打切りマス、次ニ學徒動員ニ關スル綜合的計畫性ヲ持ツテ居ルカドウカト云フ點デアリマス、文部省トシテ學徒動員ノ、參謀本部ト申シマセウカ、中心ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、學徒ヲ動員シテ配置スル工場其ノモノノ性格ヲ能ク研究セラレ、知ツテ置ク必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ動員シテ配置スル學徒ニ對シテモ、其ノ希望若シハ家庭ノ狀況、體格ノ關係或ハ全般的ニ申シマスナラバ、其ノ學校自體ノ性格ト云ツタモノト睨ミ合セテ、更ニ學徒トノ間ニシツクリ合フヤウニ、文部省ガ計畫ヲ立テテ行クトガ必要デハナイカ、尙ホ先程モ申サレタヤウニ、學徒デ遊ンデ居ルヤウナ工場ガアリ、又非常ニ忙ガシイ工場ガアリ、サウ云フ工場ノ日々動イテ行ク情勢ヲ見マシテ、學徒ノ配置ニ機動性ヲ持タシテ、空イテ居ル工場カラハ忙シイ工場ニ直グニ振向ケテヤルト云フヤウナ方法ヲ講ズルコトモ、一ツ考ヘテ見テハドウウカト思フノデアリマス、是ハ一例ニ過ギマセヌガ、或ハ直グニ持ツテ行ツテ役立タヌヤウナ工場モアリマセウカラ、勿論直グ遊休努力ヲ必要ノ方面ニ向ケテヤツテモ、受入工場ノ方デソレガ間ニ合フト云フモノデアラネバイケナイと思フノデアリマスガ、サウ云フコトモ考ヘラレ、又次ニ工場ヲ巡回シテ工場ノ作業狀態、或ハ學徒勤勞等ノ關係ヲ常ニ調査シ、若シハ監督ヲシテ歩キマスル所ノ督學官ト云フヤウナモノモ設ケルコトニ致シマシ

テ、學徒動員ニ關シマスル參謀本部ノヤウナ機構ヲ設ケテ置イテ、常ニ工場若シハ學徒ノ勤勞ニ關シマスル情報ガ毎日ノヤウニ集マツテ來ル、サウシテ其ノ情報ニ基イテ適當ニ處置按配シテ行クト云フヤウナ綜合的計畫ヲ御立テニナツテ、此ノ學徒ノ勤勞ト云フモノヲ役立タシテ行ケバ洵ニ結構ダト思ヒマスルガ、サウ云フ點ハ御考ヘニナツテ居ラヌデセウカ

○阿原政府委員 大學、高等專門學校ニ付キマシテハ大體文部省ニ於キマシテ、中等學校ニ付キマシテハ府縣ニ於キマシテ、ソレハ工場ヲ能ク調査致シマシテ、一切ノ配屬ヲヤツテ居リマス、ソレカラ學徒個人ノ身上ノコトニ付キマシテハ、當該學徒ノ屬スル學校長ニ於キマシテ、十分ニソレヲ調べマシテ適切ナ出動ヲ命ジテ居リマス、御承知ノヤウニ昨年學徒勤勞ガ行ハレマシテカラ、段々ト國家ノ要請ニ應ジマシテ、ソレガ強化セラレタノデアリマシテ、昨年ニ於キマシテハ配置ニ於テ十分デナイモノモアツタカニ考ヘラレマスルガ、ソレ等ニ付キマシテハ御承知ノヤウニ昨年本省ニ於キマシテハ全國ノ九班ニ分チマシテ、ソレハ各地方ノ實情ヲ調査シ、其ノ調査ノ結果モ現在纏ツテ居リマス、之ニ基キマシテ只今色々御示シナリマシタヤウナ點ニ付キマシテ、十分ナル成果ノ擧リマスルヤウニ、調査ノ結果ヲ活カサユウニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ現在色々研究モシ工夫モ致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス

○花村委員 最後ニ簡單ニモウ一點ダケ御尋ネ致シマス、學徒ガ應召セラレマシテ今年二年ニ垂ント致スノデアリマスルガ、此ノ戰線ニ於テ働イテ居ル

學徒ノ敢闘振リト云フモノガ、事細カニ報セラレテ居ラナイ儘ミガアルト思フ、此ノ點ニ付テハ前ニドナタカ御尋ネニナツタト云フコトデアルカラ、私ハ多ク申上ゲマセス、此ノ一點ニ於テ本當ニ祖國ノ爲ニ敢闘シテ居ラレル多クノ學徒ノ動靜ヲ具サニ、國內ニモウ少シ宣傳報道セラル、方途ヲ文部省ニ於テハ譯セラレルコトガ宜イノデヤナイカト思ヒマス、サウシテ内地ニ殘ツテ生産面ニ働イテ居ル生産學徒ノ勤勞意識ヲ、彌ガ上ニモ昂揚スル上ニ非常ニ刺激劑ニ相成ラウト思フノデアリマス、新聞等ニモチヨイ／＼出マスガ、

學徒ガ神風挺身隊ニ加ツテ祖國ノ爲ニ身命ヲ抛ツテ悠久ノ大義ヲ立テタト云フヤウナ報ヲ聞ク度毎ニ、殘ツテ居ル學徒ハ報國ノ念ニ燃エテ來ルノデアリマス、サウ云フ場面ヲ往々見タリ聞イタリ致スノデアリマスガ、モウ少シ其ノ情報ヲ集メラレテ、サウシテ宣傳是レ努メルト云フコトニ相成リマスルナラバ、尙ホ後ニ殘ツテ居リマスル學徒ノ生産意欲ト云フモノハ、彌ガ上ニモ燃エテ、生産増強ニ貢獻スル所ガ多イヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、斯ウ云フ點ハ如何デアリマスカ

○永井政府委員 學徒ノ勤勞ニ付キマシテハ、學徒ハ一般工員ト別ニ特殊ナ一ツノ組織ヲ持ツテヤツテ居ルノデアリマスガ、今御話ノ如クニ第一線ト云フコトニナリマス、是ハ全ク、陛下ノ統帥ノ下ニ働イテ居ルモノデアリマシテ、學徒トシテノ働キト其ノ他ノ者トノ働キヲ取分ケテ、色々情報ヲ集メルコトガ、非常ニ困難ナ場合モアルカト思ヒマス、併シナガラ御話ノ如クニ學黨ガ特攻隊デ敵艦ニ突入シタト云ツタヤウナ事例ガ多少デモ分リマス、ト

非常ニ學徒ニ對シテ刺激ヲ與ヘ感激セシムルコトハ御話ノ通りデゴザイマシテ、關係當局トモ十分ニ打合セラ致シマシテ、左様ノ事例ヲ出來ルダケ集メテ、十分ニ學徒ヲシテ感奮興起セシムル資ニ致シタイト考ヘマス

○村松委員長 是デ質疑ハ一應終了致シマシタ、補充的ノ質問ハ討論前ニ之ヲ許スコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後五時二十七分散會